

＜ 本 部 ＞

1. 法人の概要

所在地 宮崎市清水2丁目8番7号 代表者 理事長 長田 一郎
 法人認可 昭和27年5月20日 厚生省宮社第347号 法人登記 昭和27年5月31日

2. 法人が行う事業

- 1) 第1種社会福祉事業
 (イ) 救護施設の設置経営 (ロ) 児童養護施設の設置経営
- 2) 第2種社会福祉事業
 (イ) 保育所の設置経営 (ロ) 一時預り事業の経営 (ハ) 生計困難者に対する相談支援事業

3. 定款変更の状況

変 更 内 容 等	変更認可年月日
社会福祉法施行令の一部改正により「第22条責任の免除」の条文一部改正 社会福祉法第45条の20第4項 → 社会福祉法第45条の22の2	令和4年8月12日

4. 役員等の状況

- 1) 理事 定数 6～7名 現員数 7 名 任期 令和3年6月28日～令和5年度定時評議員会終結の時
 ・長田 一郎 (地域福祉関係者) ・松崎 元春 (地域福祉関係者) ・中武 英則 (地域福祉関係者)
 ・井星 弘規 (地域福祉関係者) ・藤久保 好子 (住吉中央保育園園長) ・中村 秀子 (みんせいかん施設長)
 ・黒木 裕子 (高千穂乳児保育園園長)
- 2) 監事 定数2名 現員数 2 名 任期 令和3年6月28日～令和5年度定時評議員会終結の時
 ・山口 ヤス子 (社会福祉経験者) ・小掠 聖 (社会福祉経験者)
- 3) 評議員 定数 7～9名 現員数 9 名 任期 令和3年6月28日～令和7年度定時評議員会終結の時
 ・大川 厚志 (地域福祉関係者) ・市原 泰紘 (地域福祉関係者) ・飯干 るみ子 (地域福祉関係者)
 ・中川 幸子 (地域福祉関係者) ・菊池 憲生 (地域福祉関係者) ・竹下 昌巳 (地域福祉関係者)
 ・中窪 民子 (地域福祉関係者) ・長友 康憲 (地域福祉関係者) ・高崎 壮一郎 (社会福祉経験者)
- 4) 第三者委員 3 名 任期 令和4年11月29日～令和6年11月28日
 ・瀬野 ちす (民生・児童委員) ・黒木國益 (自治会会計・局長) ・山口伸子 (東大宮地区地域協議会副会長)

5. 役員会等開催状況

◎ 理事会 現員数 7 名 5 回開催

開催日	出席数	議 案 等
R4. 6/14	理事7名 監事2名	① 令和3年度事業結果及び決算報告の件 ②定款変更の件 ③ 給与規程の一部改正の件 ④ 令和4年度収支補正予算の件 ⑤波島保育園の改築の件 ⑥定時評議員会の件 報告事項 第1号 理事長業務執行状況の報告 第2号 社会福祉充実残額算定結果の報告 その他
R4. 8/26	理事6名 監事2名	① 波島保育園改築工事に係る指名競争入札参加者(案)の選定の件 ② 理事会決裁契約の件 ③管理規程の改正の件 ④就業規則等の改正の件 ⑤ 保育所定員変更の件 報告事項 第1号 新型コロナウイルス感染症の件
R4. 11/25	理事7名 監事2名	① 第三者委員選任の件 ② 就業規則の一部改正の件 ③ 給与規程の一部改正の件 ④ 育児休業等に関する規則の一部改正の件 ⑤ 令和4年度収支補正予算の件 報告事項 第1号 理事長業務執行状況の件 第2号 波島保育園改築工事の件 第3号 新型コロナウイルス感染症の件
R5. 3/3	理事7名 監事2名	① 処遇改善一時金等の件 ② 令和5年度給食食材等の契約の件 ③ 令和4年度収支補正予算の件 ④ 運営規程の一部改正の件 ⑤ 波島保育園改築工事の件 ⑥ 幹部職員配置換えの件 ⑦ 被措置児童等虐待に関する件
R5. 3/27	理事6名 監事2名	① 給与規程の一部改正の件 ② コンプライアンス規程の制定の件 ③ 令和4年度最終収支補正予算(案)の件 ④ 令和5年度事業計画及び当初予算(案)の件 報告事項 第1号 人事異動について その他

◎ 評議員会 現員数 9 名 1 回開催

開催日	出席数	決 議 事 項 等
R4. 6/29	評議員7名 監事1名	① 決算の承認の件 ② 定款変更の件 報告事項 事業報告の件 波島保育園改築工事の件

◎ 第三者委員会 定数 3名 2 回開催

開催日	報告期間	苦情件数	備考	開催日	報告期間	苦情件数	備考
R4. 8/8.24	R4.2月～7月分	3 件	HP掲載	R5. 2/24	R4.8月～R5.1月分	2 件	HP掲載

6. 監事の監査状況

実施日	出席数	監査内容等	実施日	出席数	監査内容等
R4. 6/2～3	2 名	令和3年度事業報告、決算について・ 計算書類(貸借対照表及び収支計算書) 附属明細書	R4.6/29	1 名	令和3年度事業・決算の監査報告 (評議員会)
R4.6/14. 8/26. 11/25. R5.3/3.3/27	2 名	理事会に出席し、理事会の経営・会計 執行状況及び理事の業務執行につ いて監査し、必要あるときは意見を述べた	R4.12/15～ 16. R5.2/24	2 名	資産管理(基本財産・固定資産等・修繕 工事等の確認)、実地調査、経営状況、 事業執行状況

7. 主務官庁指示に関する事項

- 1) 宮崎市指導監査 実施なし

8. 借入金の状況

- 1) 宮崎養護院移転改築工事費用に伴う借入 契約日 平成19年12月19日 償還期間 20 年

借入先	借入金額	R4年度償還額	利息支払額	借入元金残高	利率
独)福祉医療機構	150,000,000 円 (内91,500,000円は無利子)	7,490,000 円	297,840 円	37,450,000 円	1.7 %

- 2) 高千穂乳児保育園改築工事費用に伴う借入 契約日 平成26年2月28日 償還期間 10 年

借入先	借入金額	R4年度償還額	利息支払額	借入元金残高	利率
株)宮崎太陽銀行 北支店	40,000,000 円	4,008,000 円	57,458 円	3,928,000 円	1.0 %

- 3) 波島保育園改築工事費用に伴う借入 契約日 令和5年3月24日 償還期間 10 年

借入先	借入金額	R4年度償還額	利息支払額	借入元金残高	利率
株)宮崎太陽銀行 北支店	50,000,000 円	0 円	43,835 円	50,000,000 円	1.0 %

9. 寄付金収入 なし

10. 登記の状況

登記事項	登記年月日
[資産の総額の変更登記] (資産総額 2,368,004,548 円)	令和4年6月22日

11. 施設整備等に関する事項

- ・ デスクトップパソコン 2台購入 ・ポータブル電源(蓄電池)

12. 行事等実施及び参加状況

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/8	波島保育園改築工事地域説明会	法人	地域自治会長等	10/27	子育て応援研修	法人(研)	育休取得職員等
6/2.3	法人内監査	監事	監事・施設長等	10/28	メンタルヘルス研修	法人(制)	職員
6/14	理事会	法人	理事・監事等	10/31.2/8	法人事業継続勉強会	法人(制)	職員
6/17	事務員研修会	〃	事務員	11/4	シェイクアウト合同訓練	法人(BCP)	職員・利用者
6/20	波島保育園仮設工事地域説明	〃	地域自治会長	11/7	波島保育園改築工事入札	法人	入札参加・設計業者等
6/24	新人正規職員視察研修	〃	新入職員等	11/8	新入職員研修会	法人(研)	新入職員等
6/25	就職説明会	医療管理専門学校	学生・事務局等	11/25	理事会	法人	理事・監事等
6/29	評議員会	法人	評議員・監事等	12/15.16	期中監査	監事	監事・施設長等
7/1	会計責任者勉強会	〃	会計責任者	1/13.16	人事ヒアリング	法人	事務局・施設長
7/3	保育のお仕事就職説明会	市保育会	学生・事務局等	2/24	第三者委員会	〃	第三者委員・施設長
7/13.17/10.2/20	ICT(コドモン)勉強会	法人(広)	担当者・事務局	2/25	R5度正規職員採用試験	〃	事務局・常勤職員
8/8.24	第三者委員会	法人	第三者委員・施設長	3/3	理事会	〃	理事・監事等
8/26	理事会	〃	理事・監事等	3/8	調理員研修	法人(研)	調理員
8/27	R5度常勤職員採用試験	〃	学生・事務局等	3/10	内定者説明会	法人	事務局・内定者
9/8	福祉のおしごと就職フェア	県社協	〃	3/17	人事異動内示	〃	事務局・施設長
9/22	主任勉強会(感染症マニュアル、倫理綱領等)	法人(研)	主任等	3/27	理事会	〃	理事・監事等
9/27	主任勉強会(虐待マニュアル、倫理綱領等)	〃	〃	3/31	退職辞令交付式	〃	事務局・退職者
10/14	波島保育園改築工事現場説明会	法人	入札参加・設計業者等				

<月例行事>

1) 法人行事

◎ 施設長会(奇数月、6回実施) … R4. 5/9、7/1、9/2、R5. 1/6、3/17 (オンライン会議)～11/18
 [内 容] … 事務連絡、各委員会協議事項の状況報告、協議(職員処遇・労働環境)等

2) 職員行事 ・職員会(月1回実施) ・ノー残業デー(毎月第2水曜実施)

<随 時>

1) 法人行事

◎ 制度委員会 ・会議… 4回実施 ・研修企画…1件実施 ・勉強会企画…2回実施
 [会 議] … R4. 4/28、8/23、11/2、R5. 2/2

[研 修] … 12項目に企画研修・勉強会、13項目に参加研修を(制)で記載

*BCP策定委員会 ・会議… 3回 ・全体合同訓練… 1回

[会 議] … R4. 8/23、11/2、R5. 2/2

[訓 練] … 12項目に詳細を 法人(BCP) で記載

◎ 研修委員会 ・会議…5回実施 ・研修企画… 3件実施 ・勉強会企画…2グループ・1回実施

[会 議] … R4. 6/27、9/20、10/27、11/8、R5. 3/8

[研 修] … 12項目に企画研修・勉強会を(研)で記載

◎ 広報委員会 ・会議… 4回実施

[会 議] … R4. 4/25、8/8、10/26、R5. 2/10

[発 行] … 宮崎福社会情報誌⇒ 第22～24号(7・12・3月)発行

*イベント企画委員会 ・会議等… 4回 ・企画… 4件実施

[会 議] … R4. 10/26 (オンライン会議)～ R4. 4/25、8/8、R5. 1/10

[企 画] … ① 子ども食堂への募金 ～ R5. 2/21 宮崎市子ども未来応援基金へ136,500円寄付

② ゴミ収集の方々へ感謝応援メッセージの掲示

③ 地域や利用者の方々へ元気を届けよう → 施設内外へのイルミネーション

④ // → 施設玄関周辺等でコスモスを栽培

*広報担当者打合せ会 ・会議… 5回実施

[会 議] … R4. 10/11、12/21、R5. 2/6 (オンライン会議)～ R4. 9/1、9/9

[発 行] … 宮崎福社会広報誌『つながり』 第37～38号(11・3月)発行

2) 職員行事等

・法人内・外研修参加(13項目へ詳細を記載) ・社会福祉法人経営者協議会青年協会議参加(年2回参加)
 ・職員健康診断(全員年 1回実施) ・職員との個人面談10件)

3) 各種外部調査

・ハラスメント防止対策に関する労務管理調査 … R4.6/15 ・改善項目等～特になし
 ・障害者雇用納付金関係業務調査 … R4.9/26 ・改善項目等～特になし

13. 研修等実施及び参加状況 ※一部オンライン研修

月/日	研 修 名 等	実施	参加数	月/日	研 修 名 等	実施	参加数
5/11	社会保険事務担当者研修	法人外	1名	9/15	腰痛・肩凝りを予防する為の対策と対応	法人外	1名
6/17	事務員研修会	法人内	4名	9/28	社会福祉法人経営者セミナー(制)	〃	1名
6/9	就職説明会にかかる事前説明会	法人外	1名	10/19	職場のメンタルヘルス不調者の対応について	〃	1名
7/1	会計責任者勉強会	法人内	2名	10/28	メンタルヘルス研修	法人内	3名
7/1	コロナ禍を乗り越えるためのメンタルヘルス	法人外	1名	10/31	法人経営継続勉強会(制)経営者セミナー	法人外	1名
7/4	ハワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	〃	2名	11/7	年末調整説明会	〃	1名
7/13.1/10 2/20	ICT(コドモン)勉強会(広)	法人内	1名	12/6	ポストコロナ時代の働き方とダイバーシティ	〃	1名
7/27	九プロ社会福祉法人経営青年会セミナー	法人外	1名	1/27	宮崎県経営協セミナー(後期)	〃	1名
8/3	「Z世代」等の若年労働者への対応や支援	〃	1名	2/7	社会福祉法人経営者青年協総会	〃	1名
8/26	宮崎県経営協セミナー(前期)	〃	2名	2/8	法人経営継続勉強会(制)	〃	1名
8/30	改正育児介護休業法に関する説明会	〃	1名	2/13	県共済制度事務説明会	〃	1名
9/6	社会保険説明会	〃	1名	2/16	障害者雇用納付金説明会	〃	1名
9/6～9	会計実務基礎研修会	〃	2名	2/22	職員が定着する職場環境づくり	〃	1名
9/14～16	全国社会福祉法人経営者大会	〃	2名				

14. 新型コロナウイルス感染症に関する事項

- ・感染状況 ・オミクロン株への置き換わりにより感染者が急増し、利用者・職員の感染者も増加した。保育所・児童養護施設の運営に苦慮した時期もあったが、職員の協力により乗り切ることができた。
- ・感染対策 ・検温、体調管理、マスク着用、手洗い、うがいの徹底、消毒 ・感染対策の情報共有や周知
 ・来客者、会議等参加者の健康(検温)チェック ・オンライン会議実施
 ・県による「医療非常事態宣言」発令 (R4.8/11～9/21) (R4.12/27～R5.2/7)
 ・感染流行時における検査キット配布により検査実施
- ・その他 ・救護施設・児童養護施設、保育所の職員へ「新型コロナウイルス感染症対策手当」支給

15. 方針に沿った取り組み状況

① 信頼される法人 ② 地域に根ざす法人 ③ 組織力のある法人

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	1. 制度委員会でコンプライアンス規程・マニュアル策定・体制を構築し、全職員に周知し運用します 2. 公益通報相談窓口を設置し、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置に努めます 3. 「倫理綱領」を周知し、利用者の人権尊重、個人の尊厳を守る重要性等について職員の認識を深めます。 4. 内部統制システムの整備・運用・改善を行い、法人内の研修を実施し理解を深めます 5. 業務マニュアルの整備を図ります 6. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 7. 施設整備計画を作成し、目的を明確にして積立を行います 8. 災害などに備えBCPの周知を図り、引続きBCP策定委員会で訓練実施等により課題を明確にして見直しを行います 9. 統一した虐待・感染症に関するマニュアル等を職員に周知し運用します 10. SDGsを意識した、中期計画の見直し・作成を行います	1. 「コンプライアンス規程」は理事会で承認され制定し、令和5年4月より施行することとなったため情報誌に掲載し周知した。次年度は、各施設において全職員が「職員の責務」と「法令違反に関する相談」等を理解し業務を行えるよう教育していきたい。また、幹部職員が法改正・関係通知についての情報収集・理解等が課題であるため、幹部職員がこれを共有したり・理解を深める機会をつくっていきたい。また、「倫理綱領」等については各施設で周知・教育できるよう主任勉強会で説明し理解を深めた。その後、各施設において周知等を実施してもらった。次年度は、その反応や理解等についてアンケートを実施し課題をさぐりながら、全職員への教育の方法を確立していきたい。 2. 内部統制については、プロセス毎に業務マニュアルを整備してきた。購買・出納については複数で確認する仕組みの理解・実施ができてきたが、収益の一部で実施できていない部分が見受けられた。次年度以降、勉強会の機会を設け改善策を探りながら改善を図っていきたい。コストについては、購買のプロセスを複数で確認することで適正価格を把握することはできていると思うが、「行事・クラス等毎の予算化等」についての仕組み見直し・方法の確立については進めることができなかった。次年度以降取り組んでいきたい。 3. 波島保育園改築工事を令和4・5年度事業で実施できることとなった。新型コロナ・世界情勢等の影響で経費が高騰していることを踏まえ、次年度以降の資金計画を立案・周知し、積立てを行っていききたい。 4. 全体合同訓練(シェイクアウト)を備蓄品や簡易トイレを使用し実施し、課題を探り改善を行った。また、BCP計画周知のアンケートにより、課題や改善も明確になったため、次年度以降取り組んでいく。 5. 研修委員会企画により、主任勉強会により作成を進めてきて、今年度完成し施設長により最終確認の上出来上がった。次年度以降、職員へ周知・教育を実施し運用していく。 6. 令和4年度までの計画の実施状況を踏まえ、全国経営協アクションプランを参考に令和5～10年度の中期計画を策定した。今後は、各項目ごとにSDGsの理解も深めて事業実施に取り組みたい。
②	1. 法人内でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 災害時の取り組みとして避難場所としての開放や、備蓄の充実を図っていきます	1. 主任により各施設の職員会等で職員へ説明等を実施し、その内容についてアンケートを実施した。これにより、今後も職員への説明を実施し理解を深めることと、地域に向けての周知方法のヒントがでていたので、検討し進めていく。 2. すみよしにおいては、台風時に避難者を受け入れ地域に役立つことができた。また、今年度、大容量の蓄電池を購入し備えていたことで、台風時の停電に役立てることができた。避難セット・簡易トイレの準備も行った。今後も災害を想定し備蓄品の充実を図りたい。

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
②	<p>3. 地域の行事に参加し、地域活性化を意図した取り組みを推進します</p> <p>4. ソーシャルネットワークサービス(SNS)等の普及を踏まえ、広報委員会で職員や利用者等の関係者に対し、適切な情報管理に関する注意喚起や教育を実施します</p> <p>5. 法人事業の安定的かつ発展的な継続に必要な事業計画や資金計画を立案し、積極的な情報発信を行います。</p>	<p>3. 新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度は地域の行事等に参加する機会が持てなかった。次年度機会があれば協力・参加していく。</p> <p>4. 広報委員会で、個人情報管理についてアンケートを実施したが、研修等を行ったことがない施設もあるため、今後、作成したパンフレットなどを使用し実施を促していく。次年度以降、新人は研修プログラムで教育を実施していく。</p> <p>5. 制度委員会が、次の時代を担う者(主任以上で50歳未満の者)で法人事業継続勉強会を実施するよう企画し、地域共生社会について等の動画視聴、研修参加及び多角化・多機能化について協議した。今後は同メンバーにより積極的に勉強会を実施し、法人の発展的な事業計画作成に繋げていく。</p>
③	<p>1. ハラスメントへの対応体制を整え、引続き職員へハラスメントに関する研修・周知を行います</p> <p>2. 制度委員会で継続して労災防止策(メンタルヘルス等)について検討し、防止策研修等を実施し、情報誌で周知します</p> <p>3. 研修委員会で、研修体制の整備等を行い、その方法を確立します</p> <p>4. 人材育成の指導内容や方法等を共通基準で作成し、リーダー層に教育を行います</p> <p>5. 目指すリーダー像を明確に示し育成します</p> <p>6. 財務管理能力の向上に取り組みます</p> <p>7. ICT化による業務効率化を推進するため勉強会を実施し、職員へ理解・周知を進めます</p> <p>8. 積極的な人材確保に取り組みます</p> <p>9. 採用後3年未満の職員に対するフォローアップを意図的、計画的に行います</p> <p>10. 職員間の人間関係を良好に維持していくため、組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、その取り組みを行います</p> <p>11. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います</p>	<p>1. 制度委員会の企画により、施設長・相談窓口担当者は産業保健センターの該当する研修に参加し、ハラスメントに対する理解を深めた。また、ハラスメント体制を情報誌に載せて周知すると共に、これをきっかけに各施設でその機会を設けるよう促した。今年度は宮崎労働局よりハラスメント体制の調査も実施され、助言の内容の一部を情報誌で周知した。今後も、引続きハラスメント防止対策についての取り組みも実施していく。</p> <p>2. 新型コロナ感染症予防対策により常時マスク着用していたため、施設長会時に熱中症対策について注意喚起を行った。また、日常と違う空間に行き心身のリフレッシュ・職員交流を目的に、フローランテ宮崎の花々を観賞し、寄せ植え体験を取り入れたメンタルヘルス研修を実施した。</p> <p>3. 研修委員会で人材育成プログラムについて話し合いを実施し、新人教育プログラムを作成し、令和5年度新人常勤職員より実施することになったため、令和5年3月にプログラム内容・法人組織等について説明を実施し資料の配布を行った。目指すリーダー像は示せなかったため、キャリアパス表の見直しとリーダー像を明確にし、リーダーを育成できるよう進めていく。</p> <p>4. 目指すリーダー像は示せなかったため、キャリアパス表の見直しとリーダー像を明確にし、リーダーを育成できるよう進めていく。</p> <p>5. 目指すリーダー像を明確にし、リーダーを育成できるよう進めていく。</p> <p>6. 会計責任者勉強会は実施したが、出納職員向けの予算管理等を含めた研修は実施できなかった。次年度以降、全国経営協の経営診断を活用し財務状況について把握・理解する機会を設けていく。</p> <p>7. 保育ICT化システム「コドモン」が4月から稼働した。登降園の把握は円滑に実施、保護者への連絡等もスムーズにでき業務効率化につながった。アルバムを廃止しシステム内の写真購入に変更したことで業務の省力化に繋がった。使いこなせていない機能もあるため今後活用について勉強会を実施し、業務効率化に繋がっていきたい。また、使用の苦手な職員の対応についても検討していきたい。</p> <p>8. 採用における面接の機会を、希望者に合わせて実施することで人材確保の機会を増やした。次年度以降、求人先の拡大をしていきたい。</p> <p>9. フォローアップする機会を持てなかった。次年度は若手が交流する機会・面談を計画し機会を設けていきたい。</p> <p>10. 組織風土について話し合う機会を設けることができなかった。次年度以降、組織風土の調査を実施し現状と課題を把握して改善に取り組んでいきたい。</p> <p>11. 職員の生活環境が変化していく中で、心の余裕が不足する者も出てきているため、面談により話を聞く機会を設けた。また、働き方への考えも幹部職員・中堅・若い世代で温度差があり課題であるため、次年度以降研修委員会で階級別研修の実施を検討し両立に必要な仲間づくり・両立の相談をしあえる場を設けていきたい。</p>

＜ 中 央 保 育 園 ＞

1. 施設の概要

- 1) 認可年月日 昭和23年1月1日 2) 利用定員 170 名
3) 概要

昭和22年に開設、昭和51年4月宮崎市により改築され、近年の少子化に伴い平成6年4月より150名に定員減。市街地中心部にあり、多様なニーズに応え時代に即応したきめ細やかな保育内容に努めている。平成15年4月より宮崎市の受託経営から法人の直接経営となる。平成19年10月に新館が完成。平成22年年1月に定員を160名に変更する。平成27年4月待機児童解消対策の一環として利用定員を170名に変更した。

2. 職員に関する事項

施設長 … 川越祥子 主任保育士 … 木野宮陽子 保育士 … 25 名 (内パート4名)
保育補助 … 1名 調理員 …4名 (内パート1名) 看護師…(パート1名) その他…(パート1名)

3. 各種事業に関する事項

- 1) 保育園利用状況 ・3月入所率 96 % ・年間入所率 91 %

区分		月												合計(名)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	標準	80	80	80	81	81	84	86	86	85	84	87	89	1,003
	短時間	13	13	13	12	12	9	7	7	8	8	5	3	110
②	標準	48	48	48	49	47	48	47	46	44	44	46	47	562
	短時間	2	3	3	2	4	3	4	5	7	7	5	4	49
③	標準	6	6	7	7	10	11	13	14	14	14	17	20	139
	短時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	標準	134	134	135	137	138	143	146	146	143	142	150	156	1,704
	短時間	16	17	17	15	17	13	12	13	16	16	11	8	171

※ ①は2号定員(3歳以上児)、②は3号(1.2歳)、③は3号(0歳)

2) 延長保育事業

・ 標準 午後6時以降～1日平均 7 名 午後7時迄1日平均 1 名 午後7時～8時 1日平均 0 名

3) 一時預かり保育事業 ・年間延利用者数 24 名

4) 障がい児保育事業 ・障がい児数 2 名

5) 学童保育事業 ・年間延利用者数 2 名

6) 子育て支援事業 ・新型コロナウイルス感染症対策のため中止

7) 育児相談事業 ・相談件数 10 件

・相談内容 断乳・離乳食などの食事面 発達面、衛生面、睡眠の事などの相談

4. 退所児童に関する事項

- 1) 退所状況 年間延退所者数 1 名 2) 退所理由 ・転園1件

5. 監査に関する事項

- 1) 法人内監査 令和4年6月2日、12月16日

- 2) 宮崎市指導監査 令和4年7月5日 ・指摘事項 なし

6. 補助金に関する事項

内容	金額	内容	金額
保育士等確保のための処遇改善補助金	1,096,000 円	延長保育促進事業補助金	1,667,000 円
一時預かり保育事業補助金	2,679,000 円	特別支援保育事業補助金	1,200,000 円
処遇改善臨時特例事業	2,522,340 円	宮崎県 物価高騰対策緊急支援金	323,000 円
保育所等給食安定供給支援事業補助金	562,500 円	新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	500,000 円
保育士等確保・定着促進事業補助金	75,000 円		

7. 寄付金収入 なし

8. 施設整備等に関する事項

・空調室内機修繕工事 ・室外機部品取替え工事 ・園内補修工事 ・厨房水栓取替工事
・流し台水栓取替工事 ・ガーデンベンチ修理 ・ポータブル電源購入

9. 行事等実施及び参加状況

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/1	入園・進級式	園主催	全園児(各クラスにて)	11/30	動物園遠足	園主催	3・4・5歳児
6/25	ふれあい運動会	〃	3歳児以上の保護者	12/13	餅つき	〃	3・4・5歳児
7/13	プール開き	〃	全園児	12/26	観劇会	〃	2・3・4・5歳児
7/26～29	夏まつりweek	〃	2歳児～5歳児・卒園児	1/10～31	保育参加week	〃	全園児
10/21	ひかり輝け楽しい発表会	〃	全園児・全保護者	2/3	節分豆まき	〃	2歳児～5歳児
10/31	ハロウィンパーティー	〃	3・4・5歳児	3/11	卒園式(お祝いのつどい)	〃	年長児・年長児保護者
11/4	シェイクアウト	〃	全園児	3/24	修了式	〃	0歳児～4歳児

<月例行事>

- 1) 保育園内行事 ※の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり
- ・誕生会、発育測定、防災・防犯訓練(月1回実施) ※お歌で遊ぼう(3.4.5歳児、第1.3金曜日、月1～2回実施)
 - ・英語で遊ぼう(3.4.5歳児、第1.3火曜日、月1～2回実施) ※お歌で遊ぼう(3.4.5歳児、第1.3金曜日、月1～2回実施)
 - ・和太鼓(5歳児、第2.4木曜日、月1～2回実施) ※体育あそび(毎週木曜日実施)
 - ・スポーツ教室(3・4・5歳児、第2.4月曜日、月1～2回実施) ※リトミック(4・5歳児、月1回実施)
 - ・文字あそび(5歳児、1～3月、毎週水曜日実施) ※スイミング(4.5歳児希望者、第1.3月曜日、月2回5月～実施)
- 2) 職員行事
- ・職員会議、保育会議、園舎内外安全点検、給食会議(月1回実施)
 - ・腸内細菌検査(給食月1回、保育士等2ヶ月に1回実施) ・衛生害虫駆除(年6回実施)

<随 時>

- 1) 保育園内行事
- ・園外保育 ・消防点検、健康診断、蟻虫検査(年2回実施) ・歯牙検診、尿検査(年1回実施)
- 2) 地域貢献等行事
- ・ボランティア・実習生受入れ(11項目へ詳細を記載)
- 3) 職員行事等
- ・法人内外研修参加(10項目へ詳細を記載) ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目へ詳細を記載)
 - ・地域ゴミ拾いボランティア(毎週月・水・金実施) ・職員健康診断(全員年1回実施)
 - ・園内研修(年8回、2班に分かれて参加)
 - ①4月～ コドモン操作勉強会 ② 5月～衛生管理について・心肺蘇生ロールプレイング
 - ③6月～年代別研修 ④ 7月～保健衛生・食中毒・心肺蘇生等 ⑤8月～簡易トイレ設置の仕方・心肺蘇生
 - ⑥9月～心肺蘇生ロールプレイング ⑦ 11月～感染症対策・倫理綱領 ⑧12月1月～BCPについて・研修報告
 - ⑨2月3月～児童要録・進級について情報交換

10. 研修等実施及び参加状況

※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18・19	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)	園外	1名	10/27	子育て支援研修	法人内	1名
7/1	会計責任者勉強会	法人内	1名	10/28	メンタルヘルス研修	〃	1名
7/4	パワーハラスを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	園外	1名	11/1	給食・保健衛生研修会	園外	1名
7/13.1/10.2/20	ICT(コドモン)勉強会	法人内	1名	11/4	事故後対応とヒヤリハット	〃	1名
8/3	保幼小連携接続カリキュラム研修会	園外	1名	11/8	新人職員研修	法人内	1名
8/31・9/1	キャリアアップ研修(マネジメント)	〃	1名	12/2	気になる子どもや保護者に対する理解と支援	園外	1名
9/3	自己評価ガイドライン改訂のポイント	〃	1名	1/25	マジックと音楽と絵本のコンサート	〃	2名
9/22	主任勉強会(感染症マニュアル、倫理綱領等)	法人内	1名	1/27	億小幼保小連携	〃	1名
9/26・27	キャリアアップ研修(乳児保育)	園外	1名	2/10	江南小幼保小連携	〃	1名
9/27	倫理綱領・行動指針の説明	法人内	1名	3/2	西池小幼保小連携	〃	1名
10/11	西中校区特別支援教育連絡会	園外	1名	3/8	調理員研修会	法人内	1名
10/18	幼児部献立作成会	〃	1名	3/22	市施設長会	園外	1名
10/19・20	キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	〃	1名				

11. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎学園短期大学	9月5日～9月17日	1名	宮崎学園短期大学	11月4日～11月17日	1名

12. 方針に沿った取り組み状況

① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統一した虐待に対するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 2. 統一したリスクマネジメントに関する仕組み・マニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 3. 統一した感染症に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 4. 業務マニュアル整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知、教育し運用します 5. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 6. 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 7. 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 8. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 9. 利用者のプライバシーや個人情報を守り、信頼性の高い福祉サービスを提供します 10. 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 11. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフチェックを使用しながら、自分の保育を振り返っていった。マニュアルができ次第、職員に周知・教育していく。 2. マニュアル作成に取り組んできた。問題が発生した場合には、その都度職員で話し合い、解決できるようにしていく。 3. 園で作成したもので対応してきた。統一したマニュアルができ次第、職員に周知・教育していく。 4. 業務内容のマニュアルを年度初めに周知した。マニュアルの見直しをしながら、より良いものにしていく。 5. 園内研修等で職員に周知してきた。なかなか伝わらないところもあるが、引き続き周知徹底していく。 6. 職員会議等で職員に周知してきた。参加していない職員には、会議録等で必ず内容が伝わるようにしている。 7. 保育士会の倫理綱領も参考にして、職員に周知・教育をしてきた。今後は、園内研修でより学べるように取り組んでいく。 8. 昨年と同様に、コロナ感染の影響で研修に参加できなかった。今後は、その影響も緩和していくので、可能な限り研修に参加します。 9. 同意書はいただいているが、その都度保護者に確認し対応してきた。SNSやyoutube等の投稿は、引き続き控えるようお願いしていく。 10. 購入業務等について職員に伝えながら、その理解を図ってきた。システムの整備は、引き続き取り組んでいく。 11. 他園のやり方を参考にしながら、予算管理を学べるよう周知・教育をしてきた。無駄をなくす、節約することを意識できるように伝えていく。
②	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティーネットについて職員に周知・理解に努めていき、地域の方々の支援に繋がっていきます 2. 地域との関わりを密にし、支援に繋がっていきます 3. 地域の安心安全の為、園の周辺に外灯を設置します 4. 災害時において、周辺住民との連携を図れるよう取り組んでいきます 5. 災害時において、周辺住民に提供できるように余裕を持った食料の備蓄に取り組めます 6. 災害時における園の役割等の情報を明確に発信していきます 7. 子育て支援等の情報を積極的に発信し、地域の子育て世代にとって居心地の良い場所を提供していきます 8. 園の周りに季節の花を植えて地域を元気にします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的に職員会等で伝えてきた。地域には園便りや回覧板等を利用して周知していく。 2. 近隣施設と連携し、災害時には避難場所としての役割を担っているが、コロナ等により具体的な内容についての意識が薄くなっていた。地域での行事等、機会があれば参加するようにしていく。 3. 防犯カメラ3台設置し、園周辺での事故や事件が起きた際には、警察へ映像を提供してきた。引き続き協力しながら、外灯設置を検討していく。 4. 現状連携は取れていない。地域の行事等に参加し、周辺住民の方々との接点をつくっていく。 5. 子ども達の非常食は備蓄してきた。保管場所の検討をしながら、提供分を備蓄できるようにしていく。 6. 近隣に地域版園便りを配布し、園の取り組みや役割、行事等を発信してきた。今後は、違った方法も考えながら発信できるようにしていく。 7. 園庭解放、こもれび広場を開催していたが、コロナにより中止していた。今後は、様子を見ながら、少しずつでも開催できるようにしていく。 8. 季節の花を植え、冬にはイルミネーションを設置し、季節感を味わえるようにしてきた。今後は、花やイルミネーションを増やしたりしながら、変化をつけられるようにしていく。

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
②	9. HP等を通して定期的に園の情報を発信していきます 10. 朝夕の混雑を緩和するための対策を講じていきます	9. 発信してきた。今後は、ニーズも把握しながら、発信方法の検討も含め取り組んでいく。 10. 子どもの様子を丁寧かつ簡潔に伝えるとともに、混雑時には職員が門に立ち、スムーズに降園できるようにしてきた。引き続き、その対応ですすめていく。
③	1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組めます 3. 働きやすい環境づくりを推進します 4. ボランティア・実習生向けのマニュアルを作成し基本姿勢を明文化していきます 5. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます 6. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し多様な働き方が出来る様に対応していきます 7. 人材育成は指導内容や方法等を共通基準で意図的・計画的に実施します 8. 新人職員の育成に取り組み、また調理師と保育士と情報を共有する事で組織力を高めます 9. 福祉の仕事のやりがいや魅力について、理解促進を図り研修を受講し専門性を高めます 10. 世代ごとのグループを作り誰もが発信しやすい環境を作ります 11. 財務管理能力の向上に取り組めます 12. 主任と副主任が連携し、主体的自主的なリーダーの育成を目指します 13. マネジメント能力の向上に取り組めます 14. ICTといった先進的な技術を用いた業務効率化に取り組めます 15. 休憩時間を確保できるよう、皆で話し合い工夫取り組みます 16. 現在の業務の内容・流れを見直し効率化に努め、協力体制作りに取り組めます	1. 新任職員への指導法や伝え方、何がハラスメントになるのか等繰り返し学びながら、すすめてきた。今後は、研修に積極的に参加する。 2. 行事を平日にすることによって参加職員も増え、負担軽減になった。今後は、リフレッシュ休暇や夏季休暇等取得しやすいように取り組んでいく。 3. 様々な場面を想定して、誰もが働きやすい環境を作ってきた。今後は、節度を持って、何でも言える、声を掛け合える雰囲気を作り、みんなで助け合う環境作りに取り組めます。 4. ボランティア対応マニュアルを他施設を参考にしながら、作成してきた。実習生マニュアルは、その世代に対応できるように随時見直していく。 5. 福祉施設見学やインターンシップ受け入れを行い、その都度情報を伝えてきた。また、機会を利用して、高校生に保育士の良さ楽しさを伝えていく。 6. 職員の希望に出来る限り添いながら、勤務時間等の調整をしてきた。今後も続けながら、常勤等へ繋げられるようにすすめていく。 7. 主任・副主任を中心に指導を行ってきた。園の流れを書面にしたものはあるが、さらに保育内容等細かく記載したマニュアルを作成し、指導にも活かせるようにしていく。 8. 給食会議により情報を共有してきた。また、普段からちょっとしたことでもお互いに伝えられるようにすすめていく。 9. キャリアアップ研修を中心に受講してきた。今後は、研修も受けやすくなると予想されるので、様々な研修を受けられるようにすすめていく。 10. 世代グループごとの園内研修を実施してきた。そこで出た意見を他のグループも知ることで世代間の違い等を理解して、働きやすい職場作りに活かしていく。 11. 物品購入に関わり、意識できるようにしてきた。特定の職員だけではなく、複数の職員を関わらせながら、意識できるようにすすめていく。 12. 連携がしっかりととれ、自主的に動いていた。今後は、若手をリーダーに引き上げベテランがサポートにつき、育成に努めるようにしていく。 13. クラスリーダーへの助言をすることで運営へと繋げるようにしてきた。今後は、若手職員の職員会も実施していく。 14. コドモンを取り入れ、効率化をすすめてきた。今後は、その機能をさらに活用できるように、勉強会等行いながら取り組んでいく。 15. 交代制で取り組んでいるが、しっかりと確保できていなかった。引き続き、声を掛け合いながら、より良い方法で確保できるようにすすめていく。 16. 業務の簡素化について話し合いを行ってきた。作り物の見直し(減らす等)や残業をなくすなど少しずつでもできるように取り組んでいく。

＜ 高千穂乳児保育園 ＞

1. 施設の概要

- 1) 認可年月日 昭和48年4月1日 2) 利用定員 50 名
3) 概要

市民の乳児保育の要望に応え、昭和44年10月中央保育所に乳児部を併設、宮崎市により昭和48年4月宮崎駅の近くに設置され、運営を受託する。近年の育児不安悩み等の電話育児相談に応じ、育児支援拠点として努めている。平成15年4月より宮崎市の受託経営から法人の直接経営となる。平成23年4月に定員を50名とする。老朽化に伴い、平成25年10月より園舎の改築工事を実施し、平成26年5月完成。

2. 職員に関する事項

施設長… 黒木裕子 主任保育士… 泉田 史子 保育士… 14名 調理員… 2名 その他… 1名
(内パート 4名)

3. 各種事業に関する事項

- 1) 保育園利用状況 ・3月入所率 62 % ・年間入所率 60 %

区分		月												合計(名)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	標準	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②	標準	21	21	21	20	19	20	18	18	18	18	16	16	226
	短時間	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	35
③	標準	4	4	5	6	7	9	8	9	8	9	9	10	88
	短時間	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	2	2	12
合計	標準	25	25	26	26	26	29	26	27	26	27	25	26	314
	短時間	4	4	4	4	4	2	4	3	4	4	5	5	47

※ ①は2号定員(3歳以上児)、②は3号(1.2歳)、③は3号(0歳)

- 2) 延長保育事業 ・ 標準 1日平均 0.8 名(午後6時以降)
3) 一時預かり事業 ・ 利用者数 年間 36 名
4) 子育て支援事業 ・ 実施回数 年間 2 回実施 ・ 利用者数 年間延利用者数 2 名
 ・ 内容 園内で遊ぶ (一時保育登録の方・見学者の方が利用)
5) 育児相談事業 ・ 相談件数 3 件(在園児・卒園児・見学者も含む)

4. 退所児童に関する事項

- 1) 退所状況 年間延退所者数 7名 2) 退所理由 ・転園 ・転居(県外) ・退職 ・里帰り出産

5. 監査に関する事項

- 1) 法人内監査 令和4年 6月2日、12月16日
2) 宮崎市指導監査 令和4年 7月5日 ・指摘事項 なし

6. 補助金に関する事項

内容		金額	内容		金額
保育士等確保のための処遇改善補助金		476,000 円	延長保育促進事業補助金		300,000 円
一時預かり事業補助金		1,963,852 円	処遇改善臨時特例事業補助金		1,376,880 円
新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金		400,000 円	宮崎県 物価高騰対策緊急支援金		95,000 円

7. 寄付金収入 なし

8. 施設整備等に関する事項 なし

9. 行事等実施及び参加状況 ※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
5/31	園児健康診断	園主催	園児	10/31	ハローウィン	園主催	園児
7/7	たなばた会	//	//	11/4	シェイクアウト	宮崎県	//
7/12	水遊びはじめ式	//	//	11/10.17	ふれあい運動広場(つき)	園主催	//
7/20	交通安全教室	//	//	11/15	園児健康診断	//	//
10/7	おまつりごっこ	//	//	3/18	卒園おめでとう会	//	園児(2歳児)・保護者
10/27	ふれあい運動広場(にじ)	//	園児(2歳児)・保護者	3/30	修了おめでとう会	//	園児

<月例行事>

1) 保育園内行事 ※の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり

- ・防災、防犯訓練 (月1回実施) ・身体計測(月1回実施) ・誕生会
- ※うんどうあそび

2) 職員行事等

- ・腸内細菌検査(調理員毎月、その他の職員2か月に1回実施) ・職員会、給食会議(毎月1回実施)
- ・安全点検(毎月1回実施)

<随 時>

1) 保育園内行事

- ・園内外の防除殺菌(年6回実施) ・不審者対策訓練、消防設備点検(年2回実施) ・玩具消毒
- ・エレベーター点検(年4回実施) ・シェイクアウト一斉訓練(非常食対応・防災食ポリ袋調理) ・室内外消毒

2) 地域貢献等行事

- ・園周辺ごみ拾(年2回実施)

3) 職員行事等

- ・職員健康診断 (全員年1回実施)
- ・園内研修(年9回)
 - ①倫理綱領・行動規範の共有と実践
 - ②BCP事業継続計画について
 - ③嘔吐物処理・消毒研修
 - ④救命救急・AED実践研修
 - ⑤廃材を利用した環境づくり
 - ⑥手作り玩具修復、改善
 - ⑦わらべうたあそび
 - ⑧SDGSを取り入れたあそび
- ・法人内外研修参加 (10項目へ詳細を記載) ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目へ詳細を記載)

10. 研修等実施及び参加状況 ※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18	Hasps研修	園外	2名	9/16	発達に応じた離乳食	園外	2名
6/1.2.9/27.1/31	スタートアップ研修	園外	1名	9/27	主任勉強会(感染症マニュアル、倫理綱領)	法人内	1名
7/1	会計責任者勉強会	法人内	1名	10/12.26	感染症対策セミナー	園外	15名
7/4	パワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	園外	1名	10/19.20	キャリアアップ(保健衛生・安全対策)	園外	1名
7/13.1/10.2/20	ICT(コドモン)勉強会	法人内	1名	10/27	子育て応援研修	法人内	1名
7/21	人権研修(児童虐待と保護者支援4)	園外	1名	10/28	メンタルヘルス研修	法人内	1名
8/3	記録技術研修	園外	1名	11/1	給食、保健衛生研修会	園外	2名
8/4	保護者とのコミュニケーション	園外	1名	11/4~12/16	キャリアアップ(障がい児)	園外	1名
8/17	子どもの食事・食育	園外	1名	11/8	新入職員研修	法人内	2名
8/27.28	キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応)	園外	1名	1/16	災害ボランティアの心得	園外	1名
8/31.9/1	キャリアアップ研修(マネジメント)	園外	1名	1/25	マジックと音楽と絵本研修	園外	3名
9/2	保育実習指導セミナー	園外	1名	3/3~3/10	園児の健康管理に関する小児科医の講演(8講座)	園外	11名
9/3	自己評価ガイドライン(改訂のポイントと活用)	園外	1名	3/8	調理員研修	法人内	1名

11. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎医療管理専門学校	8月2日	1名	宮崎学園短期大学	9月2日	2名

12. 方針に沿った取り組み状況 ① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	1. 統一した虐待に関するマニュアルを作成し、全職員に周知・教育し運用します 2. 統一した感染症等に関するマニュアル等を全職員に周知・教育し、防止策を徹底します 3. コンプライアンス体制に関する教育を行い、全職員に周知・教育し運用します 4. 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 5. 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加をします	1. 園既存のもの、チェックリスト等で再確認・周知し、利用者、保護者の変化を見逃さないよう見守り、援助に努めた。今後最終見直しで完成したマニュアルを共有する。 2. 感染症ガイドラインに沿って周知・予防・防止に努めた。今後最終見直しで完成したマニュアルを共有する。 3. 責務を理解し、適切な運営が図られるよう再認識し、行動に努めた。継続していく。 4. 通報窓口を周知した。今後も適正な処置につながるようにする。 5. 今年度も全職員に園内研修で周知。人権を尊重し、一人ひとりに寄り添った業務に努める。 6. 研修参加者の報告を基に共有をした。今後も認識を深めていく。

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ul style="list-style-type: none"> 7. 利用者のプライバシーや個人情報を守り、信頼性の高い福祉サービスを提供します 8. 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 9. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 10. 乳児保育園の今後の保育体制づくりの準備をします 	<ul style="list-style-type: none"> 7. プライバシーや個人情報を守ることの共通理解を再認識する。信頼を得られるようしっかりと行っていく。 8. 今後も助言・見直しに努める。 9. 情報交換をすることで意識を持って取り組み、できる部分は協力して行った。引き続き取り組む。 10. 乳児保育園という仕組みに保護者からの意見も聞かれるため、体制づくりを再考することが必要である。
②	<ul style="list-style-type: none"> 1. 災害、緊急時の避難場所として、安全・安心な生活の場の確保、備えに取り組みます 2. 地域安全活動の場として、開放・連携に努めます(こども110番、防犯カメラ等含) 3. 地域の多様な援助ニーズ等の支援に取り組みます 4. 地域児童福祉部会での意見交換・研修等に積極的に参加をし、情報発信、連携、協力を図ります 5. 地域の子育て支援、行事に参加・協力をします 6. 交流室を地域に開放します 7. 宮崎小学校、江平小学校と連携をとり、参観日に預かり保育を行います 8. ボランティアを受け入れ、利用者との直接的な交流を図れるような活動支援を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 安全・安心な生活の場として取り組む。引き続き、地域の方にも声掛けを行う。 2. 問い合わせ等に連携を図った。今後も務める。 3. 地域の援助ニーズはなかったが、児童福祉部会でのニーズには率先して参加ができた。引き続き取り組む。 4. 参加をすることで情報発信や地域の状況を知る機会にもなったため、引き続き連携・協力をする。 5. できる限り参加をし、内容を全職員間で園内研修にも取り入れることができた。 6. コロナ禍で利用はなかったが、今後も開放する。 7. コロナ禍で小学校の実施方法も変わり、今年度は預かり保育はなかったが、引き続き行う。 8. 感染症に気を付けながら、体験学習で子どもたちと触れ合ってもらえる機会を作った。今後も支援を行う。
③	<ul style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます 3. 働きやすい、風通しの良い環境づくりを推進します 4. ボランティア・実習生向けのマニュアルを作成し基本姿勢を明文化していきます 5. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます 6. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し、多様な働き方ができるように対応していきます 7. 職員が自らの将来の姿を描くことができるような仕組みづくりに取り組みます 8. 福祉の仕事のやりがい魅力について、理解促進を図り、研修を受講し専門性を高めます 9. 財務管理能力の向上に取り組みます 10. 主任と副主任が連携し、主体的、自主的なリーダーの育成を目指します 11. ICTといった先進的な技術を用いた業務効率化に取り組みます 12. 休憩時間を確保できるよう、皆で話し合い工夫し、取り組みます 13. 現在の業務の内容・流れを見直し、効率化に努め、協力体制づくりに取り組みます 	<ul style="list-style-type: none"> 1. ハラスメントを防止する意識をもって何れも関わり認識を深める。今後、職員も研修に参加できる状況を整えていく。 2. 声かけや手助けを行うことで心身面の負担を軽減していった。また、何事も余裕をもって活動できるように協力をする。 3. お互いに気配りに配慮をしながら業務を進めた。相談しやすい環境も整えていく。 4. 利用者との関りを大切に基本姿勢のマニュアルを作成し、希望をもって実践につながる使用の仕方をする 5. 体験学習の機会に話をする。今後も務めていく。 6. 意見を取り入れながら業務を明確にした。いろいろな働き方ができるようみんなで協力をしていく。 7. それぞれが達成感を得られるような環境をつくり、協力体制も構築する。引き続き行う。 8. 全員が受講できるオンライン研修等で共有したり、キャリアアップ研修で学んだことにより理解度も増した。今後も研修を受ける機会を設ける。 9. 状況を見ながら財務管理の向上ができるよう努めたい。 10. 意思疎通等を積極的に行う。育成に努め、連携する。 11. 初めの段階から運用の定着までスムーズにすすめていくことができた。今後、課題や他の業務にもつながる作業が進められるようにしたい。 12. 状況によって確保できないこともあったため、今後も工夫をしていく。 13. 見直しをしながら今後もすすめていく。

< 天神の森 きらら保育園 >

1. 施設の概要

1) 認可年月日 昭和23年1月1日 2) 利用定員 70名

3) 概要

昭和22年に開設され、老朽化により、昭和45年4月宮崎市により改築した。近年の出生数の減少により、平成3年4月60名を45名の定員とした。天神山公園・大淀川河畔などの自然環境を生かした園外保育にも力を入れている。平成15年4月より宮崎市の受託経営から法人の直接経営となる。平成23年4月に定員を50名とする。老朽化に伴い平成25年7月改築、定員を60名とし「天神の森きらら保育園」へ改称する。平成27年4月に待機児童解消対策の一環として利用定員を70名に変更。

2. 職員に関する事項

施設長… 長谷忠史 主任保育士… 伊東美津代 保育士… 16名 調理員… 3名 その他… 1名
(内パート 6名) (内パート 1名)

3. 各種事業に関する事項

1) 保育園利用状況 ・3月入所率 115 % ・年間入所率 107 %

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
①	標準	35	34	36	37	39	40	40	41	40	41	41	41	465
	短時間	9	10	8	7	5	4	4	3	4	3	3	3	63
②	標準	19	19	21	22	19	19	21	22	22	21	22	23	250
	短時間	3	5	3	2	5	5	3	2	2	3	4	3	40
③	標準	2	3	4	4	6	7	8	10	10	11	11	11	87
	短時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	標準	56	56	61	63	64	66	69	73	72	73	74	75	802
	短時間	12	15	11	9	10	9	7	5	6	6	7	6	103

※ ①は2号定員(3歳以上児)、②は3号(1.2歳)、③は3号(0歳)

- 2) 延長保育事業 ・標準 1日平均 (午後6時～7時まで) 4名
3) 一時預かり保育事業 ・年間延利用者数 0名
4) 障がい児保育事業 ・障がい児童数 4名
5) 学童保育事業 ・学童保育利用者数 1名
6) 子育て支援事業 ・すくすくタイム ・実施回数 年間 1回実施 ・利用者数 年間延べ利用者数 60名
7) 育児相談事業 ・相談件数 10件
・相談内容 子育ての悩み・発達相談・夫婦間の悩み・子どもの持病相談 等

4. 退所児童に関する事項

1) 退所状況 年間退所者数 3名 2) 退所理由 引っ越しのため

5. 監査に関する事項

1) 法人内監査 令和4年6月3日、12月16日 2) 宮崎市指導監査 令和4年7月8日 ・指摘事項 なし

6. 補助金に関する事項

内容	金額	内容	金額
保育士等確保のための処遇改善補助金	492,000 円	延長保育促進事業補助金	134,337 円
一時預かり保育事業補助金	2,201,924 円	処遇改善臨時特例事業補助金	1,625,160 円
新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	483,000 円	保育所等給食安定供給支援事業補助金	271,500 円
宮崎県 物価高騰対策緊急支援金	133,000 円		

7. 寄付金収入 なし

8. 施設整備等に関する事項 ・園舎外壁塗装 ・電磁式電気錠システム導入 ・空調機器 室内機分解洗浄作業

9. 行事等実施及び参加状況 ※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/7	入園進級おめでとう会	園主催	全園児	7/7	夕やけ祭り	園主催	全園児
5/10	こいのぼり運動会	〃	〃	8/29	お祭りごっこ	〃	〃
5/11	園児健康診断	〃	未満児	9/7	自衛消防訓練	〃	〃
5/25	園児健康診断	〃	以上児	9/9	プール納め	〃	〃
5/26	梅シロップ・梅干し作り	〃	5歳児	9/9	お月見団子作り	〃	5歳児
6/9	歯科検診	〃	全園児	10/12	園児健康診断	〃	未満児
6/20	田植え	〃	以上児	10/14	園児健康診断	〃	以上児
7/5	プール開き	〃	全園児	10/22	しあわせいっぱい運動会	〃	全園児

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
10/26	青島の旅	園主催	4・5歳児	12/23	クリスマスパーティー	園主催	全園児
11/3	ひむかカルタ大会	地域	5歳児	1/11	鏡開き	〃	〃
11/4	シェイクアウト訓練	〃	全園児	2/3	豆まき(節分)	〃	〃
11/4	交通安全教室	交通安全協会	〃	2/18	発表会～春まつり～	〃	以上児親子
11/12	保育参観日	園主催	未満児親子	3/3	ひな祭り誕生会	〃	全園児
11/15	七五三詣り	妙経寺・天満宮	以上児・2歳児	3/8	お別れ遠足&パーティー	〃	〃
12/3	保育参観日	園主催	以上児親子	3/15	クッキー作り	〃	5歳児
12/15	もちつき	〃	全園児	3/18	卒園・修了式	〃	全園児親子

<月例行事>

- 1) 保育園内行事 *の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり
 ・誕生会、弁当の日、身体測定、避難訓練(月1回実施) *スポーツ教室(2.3.4.5歳児 月2回実施)
 *スイミング(3.4.5歳児希望者 月2回) *英語で遊ぼう(4.5歳児・月2回実施) *獅子舞伝授(年12回実施)
- 2) 職員行事等
 ・職員会、給食検討会、遊具・安全点検(月1回実施) ・腸内細菌検査(調理員毎月、その他の職員2月に1回実施)

<随 時>

- 1) 保育園内行事
 ・園外保育 ・クッキング保育(年3回実施) ・食育(野菜作り) ・宮崎大好き活動 ・絵本貸出 ・砂場消毒
 ・健康診断(年2回実施) ・尿検査、歯科検診(年1回実施) ・園舎内外消毒(年6回実施) ・植木消毒
- 2) 地域貢献等行事 ・ボランティア・実習生・体験学習受入れ(11項目へ詳細を記載)
- 3) 職員行事等
 ・職員健康診断(全員年1回実施) ・防犯訓練(不審者対策訓練年2回実施) ・研修報告
 ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目へ詳細を記載) ・ゴミ拾いウォーキング(毎月)
 ・法人内・園内外研修参加(10項目へ詳細を記載)

10. 研修等実施及び参加状況 ※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18・19	保護者支援・子育て支援研修	園外	1名	9/22	主任勉強会(感染症マニュアル、倫理綱領等)	法人内	1名
6/24	新人正規職員視察研修会	法人内	1名	10/1・2	幼児教育研修	園外	1名
6/26	発達支援セミナー	園外	3名	10/28・29	乳児保育研修	〃	1名
7/1	会計責任者勉強会	法人内	1名	10/28	メンタルヘルス研修会	法人内	1名
7/4	ハワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	園外	1名	10/31.2/8	法人事業継続勉強会	〃	1名
7/9	発達障がい支援者スキルアップ研修	〃	1名	11/1	給食・保健衛生研修会	園外	1名
7/13.1/10.2/20	ICT(コドモン)勉強会	法人内	1名	11/10	児童虐待防止講演会	〃	1名
7/21	人権保育推進部・子育て支援部合同研修会	園外	1名	11/18	新入職員研修	法人内	3名
8/3	宮崎市保幼小連携研修会	〃	1名	1/27	宮崎県経営協セミナー後期	園外	1名
8/31・9/1	マネジメント研修	〃	1名	2/8	ハラスメント等の相談窓口担当者研修	〃	1名
9/3・4	保護者支援・子育て支援研修	〃	1名	3/8	調理員研修	法人内	1名
9/14～9/16	全国経営者大会	〃	1名				

11. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
麻生医療福祉専門学校	7/19～7/21・10/17～10/27	1名	宮崎国際大学	2/20～3/4	1名
宮崎学園短期大学	8月～2月	8名	宮崎情報ビジネス医療専門学校	2/6～2/17	1名
筑紫女学園大学	11/7～11/17	1名	純真短期大学	3/7～3/17	1名

12. 方針に沿った取り組み状況 ① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取組みの状況・結果及び今後の課題等
①	1. 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 2. 統一した感染症等に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い全職員に周知・教育し運用します 4. 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 5. 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります	1. 法人でのマニュアル作成はほぼ完成しているので、出来次第職員に周知し運用していく予定。 2. 法人でのマニュアル作成はほぼ完成しているので、出来次第職員に周知し運用していく予定。 3. } 園内研修にて法人の基本理念等確認し合い、配付された情報誌で体制を確認しながら学んでいった。 4. } また、倫理綱領や行動規範も全職員に配付し、読み合わせしながら確認できた。来年度も年度初めと適時に引き続き取り組んでいく。 5. }

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ul style="list-style-type: none"> 6. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 7. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 8. 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 9. 職員がコストを意識して働けるよう取り組みます 	<ul style="list-style-type: none"> 6. 研修に参加することができたが、復命書の回覧での報告になってしまったので、研修で学んできたことをみんなに報告する場を職員会議の中に必ず入れていきたい。 7. 個人情報同意書にて保護者には理解を頂き、最善の注意を払いながら、情報の発信に努めてきた。今後もより安全に情報を発信できるように努めていく。 8. まだ理解できていない部分もあるので、これからも勉強していく。 9. 何が必要であるかの把握をみんなで行い、必要な部分へのコストはしっかり当て、省けるものや節約できるものに関しては、みんなで考えて取り組むようにした。今後も物の把握を行い、取り組んでいく。
②	<ul style="list-style-type: none"> 1. 宮崎大好き活動を行い、地域・文化・伝統を知り共に育つ心を、職員・子ども・保護者に発信する 2. 自治会に加入し地域交流を行う 3. 天神山の清掃(月1回ちびっこ天神山守り隊活動)、定期的な花育活動と共に地域交流を行う 4. 地域にある施設との交流をします(施設訪問・宮崎天満宮・妙経寺等) 5. ホームページ等で園の取り組みや子育て情報など地域発信に努めます 6. 災害時など地域の避難所として開放し、食料備蓄を行います 7. 小学校・中学校・高校生との交流を行い共に育つ生きる力を育む活動を行う 8. 園庭開放デーを設け保護者支援に努めます 	<ul style="list-style-type: none"> 1. コロナも少しずつ緩和され、活動できる部分が増えていった。宮崎活動の意義を職員にも伝え、みんなが理解したうえで取り組めるように意識した。今後も積極的に行っていく。 2. 天満宮鳥居修繕の協力を行う。コロナで総会等が中止になったので、来年度からは積極的に参加し、交流を図っていく。 3. ちびっこ天神山守り隊活動はコロナの多い時期以外は定期的に行えた。花育活動は地域の方と触れ合いながら、花の名まえや植え方など学ぶことができた。今後も交流を図っていく。 4. 姉妹園のすみよしとの芋ほり交流や七五三詣り、初詣、プール開きなどで宮崎天満宮、妙経寺との交流ができた。ほのぼの天満との交流は、話し合いながら再開していく。 5. ホームページや地域の公民館の掲示板を利用しながら、継続して情報発信に努める。 6. 備蓄の試食をシェイクアウト訓練後に実演しながら行ったり、職員で試食会をしながら意見を出し合い、備蓄として何が必要か考えることができたので、計画的に備蓄の確保に努める。 7. コロナで直接的な交流は出来なかったが、小学校の1年生に年長が質問した内容をDVDにして返答してくれたりすることができた。コロナも5類に移行されるので、交流の機会を増やしていく。 8. 今年はコロナの影響で実現できなかったが、5月から5類になるので、公民館の掲示板にも貼り出し、積極的に行っていく。
③	<ul style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます 3. 働きやすい環境づくりを推進します 4. ボランティア・実習生むけのマニュアルを作成し基本姿勢を明文化していきます 5. 積極的な情報発信に努め福祉の仕事啓発に努めます 6. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し多様な働き方ができるように対応していきます 7. 職員が将来の姿を描くことが出来るような仕組み作りに取り組みます 8. 福祉の仕事のやりがい魅力について、理解促進を図り研修を受講し専門性を高めます 9. 休憩時間を確保できるよう、皆で声を掛け合い工夫し取り組みます 	<ul style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメントの研修に参加し、どういったことがハラスメントになるのか学んだことを職員に周知することは出来たが、話し合うまでは出来ていないので、話し合う場を設ける。 2. 朝のラジオ体操を継続し、体調不良の時はお互いに声を掛け合い、勤務変更など協力する体制ができています。また、子どもから離れて休憩する時間の確保も出来ているので、継続していく。 3. 何でも声に出して、一人で悩まずみんなで話し合う体制ができています。また、あなたメッセージを通して、お互いを尊重し良い所を認め、助け合う体制作りにも取り組めた。職員も入れ替わるので、関係づくりから取り組み、継続できるように努める。 4. マニュアル作成は出来ており、実践している。今後追加したり、ニーズに応じて見直しを行っていく。 5. 実習生や見学者などにも情報を発信し、仕事啓発に努めてきた結果、福祉会に入りたいと人材確保ができた。また、高校生にも保育士の楽しさややりがい伝え、興味関心を持たせることができた。今後も積極的に実習生の受け入れを行い、興味を持ってもらうように努める。 6. 働き方改革に伴い、職員の意向など聞きながら、みんなで協力し多様な働き方が出来るように努めてきた。今後も意思疎通を図りながら、継続していく。 7. 今の自分の立場を見直し、これからキャリアアップしていく流れを話し、イメージしやすいように説明した。また、キャリアアップすることに期待が持てるように今後も進めていく。 8. 研修への参加は少なかったが、園内研修を通してみんなで意見を出し合い、学び習得することができた。少しずつ考える力がついてきたので、継続する。 9. 子どもから離れて休憩する時間を、少しではあるが毎日確保できている。また、リラックスできるように、飲み物などの準備も行いコミュニケーションの場にもなっている。これからも、リラックスできる場を確保していく。

＜ 波 島 保 育 園 ＞

1. 施設の概要

- 1) 認可年月日 昭和23年10月1日 2) 利用定員 100 名
3) 概要

昭和22年旧大島地区の授産所併設保育所として60名で発足、地域住民の要望に応じて昭和37年10月現在地に移転改築(90名)、地域の協力を得て昭和56年4月宮崎市により改築。出生率の減少により平成6年4月に60名に減、地域に根ざした保育支援センター的役割を果たして保育活動に努めている。平成15年4月より宮崎市の受託経営から法人の直接経営となる。平成19年4月に定員を60名から90名に増員する。平成27年4月に待機児童解消対策の一環として利用定員を100名に変更。

2. 職員に関する事項

施設長 … 根井智香子 主任保育士… 島屋洋平 保育士… 24名 調理員… 2名 その他… 2名
(内パート 10名)

3. 各種事業に関する事項

- 1) 保育園利用状況 ・3月入所率 111 % ・年間入所率 107 %

区分		月												合計(名)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	標準	56	57	57	57	54	52	54	54	53	55	52	51	652
	短時間	5	4	4	4	6	7	6	6	6	4	7	8	67
②	標準	29	30	32	32	32	30	32	33	31	33	29	31	374
	短時間	6	6	5	5	6	8	6	5	7	5	9	7	75
③	標準	5	5	7	7	7	9	11	12	12	14	13	14	116
	短時間	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
合計	標準	90	92	96	96	93	91	97	99	96	102	94	96	1,142
	短時間	11	10	9	9	13	16	12	11	13	9	17	15	145

※ ①は2号定員(3歳以上児)、②は3号(1.2歳)、③は3号(0歳)

2) 延長保育事業

- ・標準 1日平均 7名 (午後6時から午後7時まで) ・(午後7時～8時) 1日平均 0.2名
- ・短時間 1日平均 0.1名 (午後4時00以降)

3) 一時預かり保育事業 ・年間延利用者数 105名

4) 休日保育事業 ・実施日数 年間延日数 63日 ・年間延利用者数 490名

5) 障がい児保育事業 ・障がい児童数 4名

6) 学童保育事業 ・年間延利用者数 0名

4. 退所児童に関する事項

- 1) 退所状況 年間延退所者数 2名 2) 退所理由 ・転居 1名 ・転園 1名

5. 監査に関する事項

- 1) 法人内監査 令和4年6月2日、 12月15日
2) 宮崎市指導監査 令和4年7月8日 ・指摘事項 なし

6. 補助金に関する事項

内容	金額	内容	金額
保育士等確保のための処遇改善補助金	632,000 円	一時預かり保育事業補助金	2,679,000 円
処遇改善臨時特例事業補助金	1,920,240 円	特別支援保育事業補助金	2,475,000 円
新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	500,000 円	延長保育促進事業補助金	993,744 円
保育所等給食安定供給支援事業補助金	385,500 円	保育士等確保・定着促進事業補助金	90,000 円
宮崎県 物価高騰対策緊急支援金	190,000 円		

7. 寄付金収入 なし

8. 施設整備等に関する事項

- ・蓄電池(ポータブル電源)購入 ・パソコン購入 ・園舎建て替え(仮設園舎へ移転)

9. 行事等実施及び参加状況

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/12	内科健診	園主催	全園児	11/2	シェイクアウト訓練	園主催	全園児
5/18	交通教室	〃	全園児	11/14	みかん狩り	〃	5歳児
5/27	お花見ハイキング	〃	4・5歳児	11/21	総合防災訓練	〃	全園児
6/11	家族ふれあい運動会	〃	2～5歳児	11/22	秋の味覚を食べよう会	〃	4～5歳児
6/22	歯牙検診	〃	全園児	11/26	生活発表会	〃	2歳児～5歳児・保護者
6/30	プール開き	〃	全園児	1/10～19	保育参加週間	〃	保護者
7/7	七夕会	〃	全園児	1/11	縄跳び大会	〃	2～5歳児:保護者
7/22	夏まつり	〃	全園児	1/17	凧あげ	〃	3～5歳児
10/1	DAYキャンプ	〃	5歳児・保護者	2/3	豆まき	〃	全園児
10/5	内科健診	〃	全園児	3/3	ひなまつり会	〃	全園児
10/7,10/11	職員子ども参観日	〃	職員子ども	3/22	卒園式	〃	5歳児・保護者
10/18	秋の親子遠足	〃	5歳児・保護者	3/25	お別れ遠足	〃	5歳児
10/20	秋の親子遠足	〃	4歳児・保護者	3/28	お別れ会	〃	全園児
11/2	ふれあい運動会	〃	0～1歳児・保護者				

<月例行事>

1) 保育園内行事

*の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり

- ・誕生会、弁当の日、発育測定、防災・防犯訓練(月1回実施) *和太鼓(5歳児 毎週木曜日実施)
- *英語で遊ぼう(4、5歳児・月2回) *体育あそび(3、4、5歳児 毎週木曜日)

2) 職員行事等

- ・職員会、安全点検(月1回実施) ・園内研修(年2回実施) ・腸内細菌検査(調理員毎月、その他の職員2月に1回実施)

<随 時>

1) 保育園内行事

- ・食育活動(野菜栽培) ・ペットボトルキャップリサイクル活動 ・内科健診(年2回実施)
- ・尿検査、歯科検診(年1回実施) ・絵本貸出し(通年実施)

2) 地域貢献等行事

- ・園庭開放(毎週火曜日実施) ・実習生・体験学習受入れ(11項目へ詳細を記載)

3) 職員行事等

- ・職員健康診断(全員年1回) ・法人内・園内外研修参加(10項目へ詳細を記載)

<その他>

1) 園舎改築等

- ・仮設園舎での事業開始日 令和5年1月30日
- ・本設園舎 解体清祓い 令和5年2月13日

10. 研修等実施及び参加状況

※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18～19	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)	園外	1名	10/24	倫理綱領について	園内	11名
6/17	衛生管理研修	園内	9名	10/25～26	キャリアアップ研修(乳児保育)	園外	1名
6/24	新人正規職員研修	法人内	2名	10/27	子育て応援研修	法人内	1名
7/1	会計責任者勉強会	〃	1名	10/28	メンタルヘルス研修会	〃	2名
7/4	パワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	園外	1名	10/31	法人事業継続勉強会	〃	1名
7/13,10/2/20	ICT(コードモン)勉強会	法人内	1名	11/8	食品衛生について	園外	2名
8/3	幼保小連携カリキュラム研修会	園外	1名	11/10	児童虐待防止講演会	〃	1名
8/4	保育士部研修会 保護者とのコミュニケーション	〃	1名	11/24	エコチャレンジ研修	〃	1名
8/31～7/1	キャリアアップ研修(マネジメント)	〃	1名	11/28～29	キャリアアップ研修(障がい児保育)	〃	1名
9/3	主任保育士研修 自己評価と保育の質の向上	〃	1名	12/7	子どもが笑顔で成長できる社会へ	〃	14名
9/7	虐待防止について	園内	13名	1/4～5	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)	〃	1名
9/8	学校体育セミナー	園外	2名	1/5～6	キャリアアップ研修(マネジメント)	〃	1名
9/26～27	キャリアアップ研修(幼児教育)	〃	1名	1/25	マジックと音楽と絵本のコンサート	〃	2名
9/27	主任勉強会(虐待マニュアル、倫理綱領等)	法人内	1名	1/27	経営協セミナー(未来に続く法人経営のヒント)	〃	1名
10/12	倫理綱領について	園内	12名	3/2	宮崎県保育事業研究大会	〃	2名
10/19～20	キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	園外	1名	3/8	調理員研修	法人内	1名

11. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎学園短期大学～ボランティア	9/12～14	1名	宮崎学園短期大学～保育実習	2/13～27	2名
宮崎学園短期大学～ボランティア	9/27	1名			

12. 方針に沿った取り組み状況

① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 2. 統一したリスクマネジメントに関する仕組み・マニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 4. 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 5. 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 7. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 8. 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 9. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人主任を中心に統一虐待マニュアルを作成した。作成したものを施設長会で見直しをしたところ更に追加した方がよい項目ができたので検討し令和5年度中からの運用を目指す。 2. 統一マニュアル作成には至らなかった。園では年度初めに園のマニュアルを全職員に配布し、危機管理の意識づけを行うとともに仕組みや対応の周知を行った。 3. 基本理念等の読み合わせや情報誌等で体制を確認しながら進めることができた。定期的に話し合い、振り返りを持つことでこれからも意識づけしていきたい。 4. 職員会で仕組みについて説明を行った。今後も繰り返し、理解・周知に努めていくとともに、視野を広げ、通報しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。 5. 職員会の場を利用して説明を加えながら読み合わせを行った。問題となるような行為はなかったが、言葉、態度など自分では気づいてない面もあるかもしれないので、みんなで注意喚起していくようにした。 6. 園内研修で外部講師を招いてジェンダー研修を行った。全職員で共有しあうことが出来たのでよかった。次年度も継続して全職員が研修に参加して現場で人権尊重を実現できるように取り組んでいくようにしたい。 7. 職員に向けて個人情報の取り扱いについての資料を配布して話を行った。事例の読み合わせを行い項目ごとに守られているか確認をしていった。これからも定期的に確認していく。 8. 本部と連携を取りながら、今後も勉強、検討を重ね継続していく。 9. 備品や保育材料等を職員が把握するようにコストの意識づけしていくが、改善されない事が多かった。実際の支出を示したりしながら無駄をなくすためには～をみんなで考える機会を設け実践していきたい。
②	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域機関・民生委員・との連携をはかりながら、困っている人・困りごと等の情報を得られるようにつとめ他の関係機関・団体へ繋げ、連携して対応を図ります 2. 引続き園の取り組みや行事等を記した便りを作成し地域回覧で発信していきます 3. ホームページで園の取り組みや子育て情報など発信します 4. 地域の子育て支援・育児相談等を受ける体制づくりを整え園庭開放や子育て交流を行っていきます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者夫婦間のDVを数件、見聞きした。保護者に直接聞きだすことはむづかしい。「何か困っていることはありませんか」とやんわりと対応していった。今後もまわりに目を配るとともに相談しやすい環境、対応を身につけていきたい。 2. 地域通信を年4回発行した。ペットキャップの回収へのエコ活動の取り組みも通信を通して伝えることが出来、協力をしてもらうことができた。 3. 子育て情報等、新たな情報発信には至らなかった。HPをみての外部からの問い合わせも年間数件あり閲覧してもらっていることを実感した。HPをもっと充実させるよう取り組んでいきたい。 4. コロナウィルス感染症で園庭開放・交流の利用はなかった。

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
	<p>5. 障害児の受け入れや、課題の多い家族のいる利用者の受け入れなど積極的に取り組みます</p> <p>6. 園周辺のごみ拾いを行います</p> <p>7. お助けハウスとして地域の安全に努めます</p> <p>8. 災害時は避難所として開放します</p> <p>9. 地域へ向けて施設整備の説明を行い地域の保育園として活用してもらえよう理解・協力を得るよう努めます</p>	<p>5. 障がい児に対しては、発達支援センターと連携をとりながら施設支援訪問の要請もお願いして支援に務めた。障害児をかかえている家庭からの問い合わせが多く、面談を行い、体制を整え受け入れを行った。</p> <p>6. 公民館広場のごみ拾いを行った。例年は園児と一緒にしていたが感染症の心配もあるので職員のみで行った。</p> <p>7. お助けハウスの利用はなかった。目印のシールは記してあるが更に地域、小学校等にアピール・周知していきたい。</p> <p>8. 地域通信に記載して災害時には避難所として開放することを伝えた。避難所として使えるようさらに食料・蓄電池等の備蓄・整備を行っていくようにしたい。</p> <p>9. 建て替えのため、地域住民への説明を行った。理解を示していただき、予定通り整備にとりかかることができた。これからも交流を図り良好な関係づくりに務めるようにしていきたい。</p>
(3)	<p>1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います</p> <p>2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます</p> <p>3. 働きやすい環境づくりを推進します</p> <p>4. ボランティア・実習生向けのマニュアルを作成し基本姿勢を明分化していきます</p> <p>5. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます</p> <p>6. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し多様な働き方ができるように対応していきます</p> <p>7. 福祉の仕事のやりがい・魅力について、理解促進を図り研修を受講し専門性を高めます</p> <p>8. 財務管理能力の向上に取り組みます</p> <p>9. 主任と副主任が連携し、主体的自主的なリーダーの育成を目指します</p> <p>10. 現在の業務の内容・流れを見直し効率化に努め、協力体制づくりに取り組みます</p> <p>11. 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、職員の手洗い・うがい、マスク着用・健康チェック・園の換気・消毒などを徹底していきます。</p>	<p>1. パワハラは誰もが被害者、加害者になりうる事を考えて、職員間で話し合いをした。事例を示しながら言動に気をつけるようにした。全職員がお互いを思いやり働ける職場環境作りを行っていききたい。</p> <p>2. 面談等をとおして職員のメンタルヘルスケアに努めた。心身不良の職員、それを支える職員も精神苦痛を訴えることもあり皆で落ち込んだ時もあった。頻繁に言葉をかけあう等して皆で見守り、励ましあった。</p> <p>3. 困っている時は声をかけあったり、勤務交代など職員間同士で助け合う姿が見られたが、退職者が2名でて残念であった。これから更に快く話を聞いたり、話がしやすい環境づくりに努めていきたい。</p> <p>4. 具体的に明確化するマニュアル作りには至らなかった。</p> <p>5. 外部に向けた情報発信ができなかった。今後の情報発信についてどのように行っていけばよいか話し合っ進めていく。</p> <p>6. パート職員には雇用時間や業務についての説明を行い、希望に沿って働けるよう調整を図った。</p> <p>7. 専門性を高めるためオンライン研修や外部の研修・全職員参加の園内研修に参加した。次年度も引き続きオンライン・外部研修等に積極的に参加していきたい。</p> <p>8. 財務管理がしっかり出来ていなかった。今後はしっかり把握するとともに予算については必要性和計画性を意識して財務管理に努めていきたい。</p> <p>9. 副主任は担当クラスがあるため難しいが、副主任としての自覚が出てきて役割を遂行しようと頑張っている姿がみられるようになってきた。今後は連携をとりながら自主的に行えるようにリーダーの育成をしていきたい。</p> <p>10. 書類等にかかる時間はICTの導入により効率よく進められていると思う。写真(アルバム)は止めたにもかかわらず、切り替えができていない職員がいる。効率化についてさらに職員で話しあっ進めていきたい。</p> <p>11. コロナウイルス感染症は収まってきた。このまま気を抜かず、基本の予防対策・衛生管理をしっかり行っていきたい。</p>

＜ 住吉中央保育園 ＞

1. 施設の概要

- 1) 認可年月日 昭和32年3月8日 2) 利用定員 70名
- 3) 概要 旧住吉村社会福祉協議会の運営で住吉地区に最初に発足し、昭和32年旧住吉村の宮崎合併に伴い本会に寄付運営が移管された。老朽化等により、昭和58年11月26日日本船舶振興会の補助を受け、宮崎市住吉支所跡地に移転改築された夢のあるユニークな近代的設備である。樹木に囲まれた高台で環境に恵まれている。平成27年4月に待機児童解消対策の一環として利用定員を70名に変更。

2. 職員に関する事項

施設長… 藤久保好子 主任保育士… 大野直人 保育士… 17名 調理員… 2名 その他… 2名
(内パート5名)

3. 各種事業に関する事項

- 1) 保育園利用状況 ・3月入所率 114 % ・年間入所率 112 %

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
		①	標準	44	43	44	43	42	42	42	42	40	41	
	短時間	0	1	1	2	3	3	3	3	5	4	4	4	33
②	標準	26	25	25	26	25	25	25	23	22	23	23	23	291
	短時間	0	2	2	1	2	2	2	4	5	4	4	4	32
③	標準	5	5	6	6	7	7	7	7	7	8	8	8	81
	短時間	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	標準	75	73	75	75	74	74	74	72	69	72	72	72	877
	短時間	0	3	3	4	5	5	5	7	10	8	8	8	66

※ ①は2号定員(3歳以上児)、②は3号(1.2歳)、③は3号(0歳)

2) 延長保育事業

- ・標準1日平均 2名 (午後6時～7時まで)

3) 一時預かり保育事業

- ・年間延利用者数 65名

4) 子育て支援事業

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため中止

5) 学童保育事業

- ・年間延利用者数 760名

6) 育児相談事業

- ・相談内容 ・子育ての不安 ・育児疲れ ・家庭の問題 等の相談

4. 退所児童に関する事項

- 1) 退所状況 ・年間退所者数 1名 2) 退所理由 転居

5. 監査に関する事項

- 1) 法人内監査 令和4年6月3日、12月15日
- 2) 宮崎市指導監査 令和4年7月6日 ・指摘事項 なし

6. 補助金に関する事項

内容	金額	内容	金額
保育士等確保のための処遇改善補助金	708,000 円	延長保育促進事業補助金	300,000 円
一時預かり保育事業補助金	2,679,000 円	処遇改善臨時特例事業補助金	1,571,400 円
特別支援保育事業補助金	800,000 円	新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	500,000 円
宮崎県 物価高騰対策緊急支援金	133,000 円	保育所等給食安定供給支援事業補助金	282,600 円

7. 寄付金収入 なし

8. 施設整備等に関する事項

- ・遮熱tentオアシス購入 ・タブレット型ノートパソコン1台購入 ・ひよこ組エアコン購入設置
- ・全館排水管クリーニング ・ポータブル電源購入 ・テーブルAIコーティング ・以上児テラス手すり補修

9. 行事等実施及び参加状況 ※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月	行事名	実施	参加者等	月	行事名	実施	参加者等
4/1	入園・進級式	園主催	園児・ 新入園児保護者	5/25	歯科検診	園主催	園児
4/15	春と遊ぼう・住吉散策	〃	園児	5/19	園児健康診断(6月・9月)	〃	〃
4/28	こいのぼり運動会	〃	〃	5/27	ピカピカ住吉清掃活動	〃	園児・職員

月	行事名	実施	参加者等	月	行事名	実施	参加者等
7/8	プール開き	園主催	園児	11/18	やきいもパーティー	園主催	園児・保護者
8/10	夕涼み会(おまつりごっこ)	〃	〃	12/3	住吉まつり 2022	住吉地区	地域・さくら園児
8月中	お手紙でこんにちは	〃	園児・学童1年生	12/5	人形劇	園主催	園児・職員
8/27	デイキャンプ	〃	さくら園児	12/10	わくわくどきどき発表会	〃	園児・保護者
8/23	ジンケンジャー来援	〃	園児・職員	12/13	祖父母招待発表会	〃	園児・祖父母
9/1	住吉地区イベントセレモニー	住吉地区	地域・さくら園児	12/14	おもちつき会	〃	園児・職員
9/9	総合防災訓練	園主催	園児・職員	12/15.16	ハートスペース人権を学ぼう	県 男女参画課	さくら園児・職員
9/11	奉仕作業	〃	職員・保護者	1/13	ピカピカ住吉清掃活動	園主催	園児・職員
10/1	にこにこ運動会	〃	園児・保護者	1/27	凧揚げ大会・遠足	〃	園児
10/4	祖父母招待運動会	〃	園児・祖父母	2/3	豆まき	〃	〃
10/5	青島・萩の台遠足	〃	園児	2/7	市民の森 梅園散策	〃	〃
10/7	秋休み1年生招待・職員子ども参観日	〃	園児・小学生・職員	3/1	わくわく・いちご狩り遠足	〃	さくら園児・職員
10/26	交通安全教室	交通安全協会	園児	3/18	卒園式	〃	さくら園児・保護者
10/31	芋掘り遠足	園主催	〃	3/20	ゆっくり歩こう会(動物園遠足)	〃	園児
11/4	シェイクアウト訓練	〃	園児・職員・保護者	3/24	さくら組お別れ会	〃	〃
11/8	平和台遠足	〃	園児	3/29	修了式	〃	〃
11/11	みかん狩り遠足	〃	さくら園児・保護者				

<月例行事>

1) 保育園内行事 *の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり

- ・誕生会 ・防災・防犯訓練、身体計測(月1回実施・ノーメディアデー(第3水曜日実施) ・文字(1~3月)
- * 英語で遊ぼう(3.4.5歳児 月3回実施) * 和太鼓5月~7月
- * スポーツ教室(3.4.5歳児 月2回実施)

2) 職員行事等

- ・リーダー会(月4~5回実施) ・ノー残業デー(第2水曜日) ・腸内細菌検査(調理員毎月・その他の職員2月も1回実施)

<随 時>

1) 保育園内行事

- ・園外保育 ・保護者役員会(三役会) ・ママ楽カラ弁当の日
- ・エコ活動 ・砂場・植木・園舎内消毒

2) 地域貢献等行事

- ・地域清掃 ・地域子育てサロン(出前保育) ・実習生受け入れ(11項目へ詳細を記載)

3) 職員行事等

- ・全体職員会(年2回 職種毎に実施) ・職員健康診断(年1回実施) ・研修報告、法人内イベント参加
- ・法人内・園内外研修参加(10項目へ詳細を記載) ・副主任・専門リーダー会(年3・4回)
- ・法人内各種委員会 ・担当者打合せ等(本部12項目へ詳細を記載)

4) その他

- ・全保護者個別面談(1日1クラス1名の保育参加・6月~9月実施) ・日々検温(園児・保護者・職員)室内外消毒

10. 研修等実施及び参加状況

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18.19	保護者支援・子育て支援	園外	1名	7/13.1/10.2/20	ICT(コドモン)勉強会	法人内	1名
6/8	新人保育者スタートアップセミナー	〃	1名	7/21	こどもの人権~児童虐待と保護者支援~	園外	1名
6/11	発達障がい支援基礎講座	〃	1名	7/27	保育者対象セミナー<造形表現>	〃	1名
6/21	保育所保育指針実践セミナー	〃	1名	7,8月	幼児教育担当者研修会	〃	1名
7/1	会計責任者勉強会	法人内	1名	8/1	令和4年度 食育推進研修会	〃	2名
7/4	ハワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	〃	1名	8/3	宮崎市保幼小連携(持続期カリキュラム)研修会	〃	1名
7/7	心肺蘇生研修	園内	全職員	8/3	記録技術研修(保育、児童)	〃	1名
7/9	発達障がい支援者スキルアップ研修	園外	1名	8/3	保護者支援セミナー	〃	1名
7/11	お掃除マイスターによる園舎日常清掃のコツと定期清掃のすすめ	〃	1名	8/4	保護者とのコミュニケーション研修	〃	1名
7/12	野外遊具の安全・安心な管理について	〃	1名	8/19	事故予防セミナー	〃	1名
7/13	保育者対象セミナー<保育環境>	〃	1名	8/27	発達障がい支援者スキルアップ研修 生活支援・強度行動障害フォローアップ	〃	1名

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
8/30	人権・事故防止研修	園外	全職員	10/31.2/8	法人事業継続勉強会	法人内	1名
8,9月	乳児保育担当者研修	〃	1名	11/1	令和4年度 給食・保健衛生研修会	園外	2名
9/3	主任保育士・主幹保育教諭研修会	〃	1名	11/8	新任職員研修	〃	1名
9/12	幼児教育担当者研修会	〃	1名	11/10	児童虐待防止講演会	〃	2名
9/13	新任研修	法人内	1名	11/24	こどもエコチャレンジ認定指定施設交流研修会	〃	1名
9/22	主任勉強会(虐待マニュアル、倫理綱領等)	〃	1名	1/13	保育の現場における安全管理研修	〃	1名
10/11	BCP検討会	〃	3名	1/25	マジックと音楽と絵本のコンサート	〃	3名
10/18	倫理綱領・行動規範・個人情報	園内	全職員	1/27	宮崎県経営協セミナー	〃	1名
10/18	乳児保育担当者研修	園外	1名	2/18	宮崎県災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修	〃	1名
10/26	チーム力を高めるコミュニケーション研修 管理職員編	〃	1名	3/2	宮崎県保育事業研修大会	〃	3名
10/28	メンタルヘルス研修	法人内	2名	3/8	調理員研修	法人内	1名

11. 実習ボランティア等受け入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎学園短期大学実習Ⅱ	11/4～11/17	2名	宮崎学園短期大学実習Ⅰa	2/4～2/17	2名
宮崎学園短期大学実習ボランティア	12/29	2名	宮崎学園短期大学実習Ⅱ	2/13～3/1	1名

12. 方針に沿った取り組み状況

① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ol style="list-style-type: none"> 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 統一した感染症等に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 	<ol style="list-style-type: none"> 統一した福祉会の虐待・感染症マニュアルが完成したので、全職員周知できた。 具体的学び、R5年度から活用・運用していく。 福祉会の情報誌を活用し、読み合わせ等で全職員に周知できた。 今後も、より仕組みの理解・周知に努めていく。 全職員で読み合わせし、周知・確認を行った。今後も毎年再確認していく ハートスペースによる人権セミナーを、子ども達(年長児)と共に受講でき、学ぶことができた。引き続き取り組んでいく。 重要性については、認識・確認できた。更なる福祉サービスの向上に努めていく。 引き続き見直し、すすめていく。 事業計画、予算等、周知することで物品購入・維持管理等エコ意識が高まってきている。より意識し、見直ししながらすすめていく。
②	<ol style="list-style-type: none"> 法人内でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 地域機関・民生委員・との連携をはかりながら、困っている人・困りごと等の情報を得られるようにつとめます 課題の多い家庭の支援や援助を積極的におこないます 	<ol style="list-style-type: none"> 職員の周知・理解はできたが、コロナ禍3年目となり、地域に出向く機会もなかなかなく、情報を得ることができなかった。 今後も継続して取り組んでいく。 家庭や保護者の困りごと等、その都度職員で情報を交換・共有しながら、支援を行ってきた。今後も信頼関係を築きながら寄り添っていく。

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
②	<p>4. 月に一回、職員や子ども達と地域貢献清掃活動[ぴかぴかすみよし]を実施します</p> <p>5. 園の様子や活動状況をホームページや地域の回覧板で発信し、ほっとなごんでもらえるような工夫をしています</p> <p>6. 感染対策をとりながら、子育て支援”にここ広場”や園庭開放を、活用してもらえよう広報面でも工夫していきます</p> <p>7. 可能な範囲で地域の行事に参加し、地域とのつながりや活性化に貢献します</p> <p>8. 子育て支援”にここ広場”や園庭開放を、より充実させ、多くの人に活用してもらえよう広報面でも工夫していきます</p> <p>9. 保育の専門性を活かして出前保育や職員(人材)派遣等、地域の活性化に努めます</p>	<p>4. コロナ禍で月1回はできなかったが、園外に出かけたり、地域を散歩の時は、積極的に取り組み、実施できた。</p> <p>5. 地域の回覧板で四季折々の園の活動の様子を発信できたので、今後も継続していく。</p> <p>6. } 地域の要望に応じて、地域行事・お祭りで2回は和太鼓で地域貢献できた。今後はコロナも落ち着いてきたので積極的に地域貢献できるように努める。</p> <p>7. }</p> <p>8. } コロナ感染症対策で、”にここ広場”は開催できなかったが、児童館と連携して、児童館利用の親子に遊びに来てもらい、喜んでもらった。R5年度は対策をとって再開していく。</p> <p>9. }</p>
③	<p>1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います</p> <p>2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます</p> <p>3. 働きやすい環境づくりを推進します</p> <p>4. ボランティア・実習生向けのマニュアルを作成し基本姿勢を明分化していきます</p> <p>5. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます</p> <p>6. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し多様な働き方ができるように対応していきます</p> <p>7. 人材育成は指導内容や方法等を共通基準で意図的・計画的に実施します</p> <p>8. 福祉の仕事のやりがい魅力について、理解促進を図り研修を受講し専門性を高めます</p> <p>9. 財務管理能力の向上に取り組みます</p> <p>10. 主任と副主任が連携し、主体的自主的なリーダーの育成を目指します</p> <p>11. ICT化を進め、業務効率化に取り組みます</p> <p>12. 働き方改革を進めるため、業務の内容・流れの見直し等、皆で話し合う協力体制を作り取り組みます</p>	<p>1. 職員会等で情報誌をもとに読み合わせをして周知した。研修等にも参加し、報告書をもとに学ぶ。継続して意識を高めていく。</p> <p>2. } 毎朝のラジオ体操は、継続して取り組めた。コロナ対応の3年間で、精神面での負担が大きく、少しでも癒してほしくて、休憩時のティータイムを大事にしてきた。お互い様の気持ちで、年休・急な早退・勤務時間の配慮等できた。よりよい環境づくりを目指す。</p> <p>3. }</p> <p>4. ほぼ希望どおりのボランティア・実習生を受け入れることができ、事前の打ち合わせで基本姿勢や心得を伝えた。今後、より具体的な実習マニュアルづくりをすすめていく。</p> <p>5. 今後も、実習生・卒園児(小・中学生)・職員の子ども等、機会をとらえ、情報(保育士の仕事・やりがい・楽しさ等)を発信していく。</p> <p>6. 個々の希望に沿って、無理なく、安心して働けるように、工夫し、対応してきた。引き続き対応していく。</p> <p>7. } 新任・若手職員には、保育士としての仕事の責務を伝えながらも、まずは保育を楽しみ、喜びを感じ、ずっと働き続けられる見通しを持てるような働きかけをしていった。今後も、福祉の仕事のやりがいや、理解・促進に努めていく。</p> <p>8. }</p> <p>9. 毎月の予算実績表を確認しながら取り組んでいたが、科目間流用を出してしまうことがあった。今後は、より計画性をもって取り組んでいく。</p> <p>10. 若手育成では、戸惑うところもあったが、リーダー会等、よく話し合うことで連携でき、リーダー意識・自覚も育った。より連携・協力していく。</p> <p>11. ICT化にも、お互い学び合いながら慣れてきて、少しずつだが業務の軽減につながった。引き続き、積極的にすすめていく。</p> <p>12. 保育の質も考えながらの業務や、行事等の見直しを職員間で話し合い、検討して実践してきた。今後もお互い協力しながら働き方改革に取り組んでいく。</p>

9. 行事等実施及び参加状況

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/1	入園・進級おめでとう会	園主催	園児	12/3	楽しい発表会(第二部)	園主催	3・4・5歳児 保護者
4/20	交通安全教室	〃	園児・指導員	12/12	クッキング	〃	5歳児
5/11	こいのぼり運動会	〃	園児	12/15	もちつき会	〃	園児・職員
6/20～24	保育参観週間	〃	園児・保護者	12/17	招待お茶会	〃	5歳児・保護者
6/23	宮崎大好き活動 in 青島	〃	5歳児・姉妹園児	12/22	クリスマス誕生会	〃	園児
7/1	プール開き	〃	園児	12/22	イルミネーション点灯	〃	〃
7/6	星の子まつり	〃	園児	1/12	たこあげ会	〃	〃
8/6	さくらの夕べ	〃	5歳児・卒園児	1/18	自衛消防訓練	〃	園児・職員
8/24	夏のお楽しみ会	〃	園児	1/21	ふれあい親子遠足	〃	園児・保護者
8/31	プール納め	〃	園児	1/21	さくらのお店	〃	5歳児・全家族
10/8	ふれあい運動会(第一部)	〃	0・1・2歳児 保護者	1/26	動物園遠足	〃	1. 2. 3. 4. 5歳児
10/8	ふれあい運動会(第二部)	〃	3・4・5歳児 保護者	1/26	お買い物体験	〃	5歳児
10/13	祖父母交流	〃	園児の祖父母	2/1	写真撮影	〃	園児
10/27	芋掘り	〃	園児	2/2	豆まき会	〃	〃
11/3	廣原神社例大祭	地域主催	5歳児	3/2	ひなまつり誕生会	〃	〃
11/4	シェイクアウト訓練	宮崎県	園児・職員	3/11	卒園式	〃	5歳児・家族
11/10	みかん狩り遠足	園主催	4・5歳児	3/13	修了式・バチ渡し式	〃	園児
11/14	七五三詣り	〃	2・3・4・5歳児	3/15	思い出の旅	〃	5歳児
12/3	楽しい発表会(第一部)	〃	0・1・2歳児 保護者	3/27	お別れ会	〃	園児・職員

<月例行事>

1) 保育園内行事 ※の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり

- ・お誕生会(月1回実施)
- ・英語で遊ぼう(2・3・4・5歳児)(月2回実施)
- ・スィミング(3・4・5歳児希望者)(月1～2回実施)
- ・防災訓練(月1回実施)
- ・身体計測(月1回実施)
- ・運動遊び(2・3・4・5歳児)(月4回実施)
- ・お茶会(5歳児)(月1回実施)
- ・文字のおけいこ(年8回)
- ・お弁当の日(月1回実施)

2) 職員行事等

- ・職員会(月1回実施)
- ・給食検討会(月1回実施)
- ・遊具安全点検(月1回実施)
- ・お茶会参加(月1回実施)
- ・腸内細菌検査(調理員毎月、その他の職員2ヶ月に1回実施)
- ・リーダー会

<随 時>

1) 保育園内行事

- ・健康診断(年2回実施)
- ・歯科検診(年1回実施)
- ・尿検査(年1回実施)
- ・クッキング(年1回実施)
- ・園外保育

2) 地域貢献等行事

- ・ボランティア・実習生受入れ(11項目へ詳細を記載)
- ・ゴミ拾いボランティア(年1回実施)

3) 職員行事等

- ・健康診断(年1回実施)
- ・食育野菜作り、美化活動(花植え・清掃)(通年実施)
- ・法人内イベント参加
- ・法人内・園内外研修参加(10項目目へ詳細を記載)
- ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目へ詳細を記載)

10. 研修等実施及び参加状況

※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18～19	保護者支援・子育て支援研修	園外	1名	10/27	子育て応援研修	法人内	1名
6/3	幼保小連携研修	〃	1名	10/28	メンタルヘルス研修	〃	2名
6/15	働きやすい職場づくりについて	園内	7名	10/28～29	乳児研修	園外	1名
7/1	会計責任者勉強会	法人内	1名	11/1	給食・保健衛生研修会	〃	1名
7/4	ハラスメント研修	園外	1名	11/4	災害時の簡易トイレの使用・処理の仕方	法人内	14名
7/13	九州ブロック保育士会セミナー	〃	1名	11/8	新入職員研修	〃	1名
7/14.1/10.2/20	ICT(コドモン)勉強会	法人内	1名	1/19	児童虐待の基礎理解	園内	11名
8/1	食育推進研修会	園外	1名	1/26	住吉小引き継ぎ会	園外	1名
8/3	保幼小連携研修	〃	1名	2/6	中期計画について	園内	7名
8/12	感染症について	園内	6名	2/17	広瀬西小引き継ぎ会	園外	1名
9/27	主任勉強会(虐待マニュアル、倫理綱領等)	法人内	1名	2/20	住吉小参観研修	〃	1名

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
2/28	発達支援講座	園外	1名	3/23	子どもの事故(やけど・誤飲)講座	園外	7名
3/3	腹痛・下痢・便秘講座	〃	2名	3/28	子どもの感染症・中耳炎講座	〃	6名
3/7	ワクチン接種の重要性講座	〃	1名	3/29	咳・喘息・アトピー性皮膚炎含むアレルギー性疾患講座	〃	3名
3/13	発熱・けいれん・熱中症講座	〃	9名	3/29	ワクチン接種の重要性講座	〃	1名
3/20	咳・喘息・アトピー性皮膚炎含むアレルギー性疾患講座	〃	4名				

11. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎国際大学	8/22～9/2	1名	宮崎学園短期大学	12/26～27	1名
宮崎学園短期大学	9/7～9	1名	宮崎学園短期大学	2/13～27	1名
宮崎農業高校	10/18～20	1名			

12. 方針に沿った取り組み状況

① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ol style="list-style-type: none"> 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 統一したリスクマネジメントに関する仕組み・マニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 統一した感染症等に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正処置を行います 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 	<ol style="list-style-type: none"> 園内研修で虐待の基礎知識を学んだり等行った。今後は学んだ事を旨く活用し、統一マニュアルの完成後は、再度周知し運用して行きたい。 職員会でヒヤリハット等の報告は行った。慣れてしまうと気付かなくなる為、常に気付いたら細かな事でも伝える様に周知したが、マニュアル作成までには至らなかった。今後は取り組んで行きたい。 なかなか周知する段階には至らない為、まずは病気の事を学んでもらいたく、色々な子どもの病気の講座を受けた。今後は学んだ事を活かして行きたい。 業務マニュアルの見直しや標準化共有化はしたものの、実際に動いてみると、改めてやりにくさを感じる内容も出てきている。今後更に検討して行きたい。 法人の仕組みや適正な処理の流れは、本部からの広報誌等を活用しながら周知した。今後、不正行為が有る場合は早期発見につながる事を期待したい。 引き続き専門職のプロとして、児童や保護者の人権を大切にしながら接する事を心掛けた事で、その育ちの手助けをする事が出来た。今後も続けて行きたい。 今年度、人権研修に参加する予定になっていたが、コロナの関係で参加キャンセルとなった。次年度にまた計画したい。 引き続き、保護者から承諾を頂き、掲示板やHPに写真等をアップした。いまだ園舎に入れられない状況である為、保護者には大変喜ばれた。今後もより安全な情報提供に心掛けたい。 事務局の方で企画して頂き勉強したのだが、内容も理解出来ていない部分もあり、忘れてしまった部分もあり、再度見直し等を行って行きたい。
②	<ol style="list-style-type: none"> 法人内でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 地域機関や民生委員との連携を図る事で、情報を得られる様に努めます 育児相談、課題の多い家庭への支援や援助を積極的に行う事で、子育て支援の充実化を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 法人の委員会でコロナ禍ではあったが、前向きに検討し進めていたのだが、結局実行する事は出来なかった。今後も前向きに進めて行きたい。 今年度は自主的に子ども達と共に地域機関に足を運び、少しではあるが情報を得る事が出来た。また、問題発生時には連携を取り対処する事が出来た。今後も続けて行きたい。 保護者からの相談は、本当に子どもからの困り感ではなく、母親の精神状態によるものが殆どで、誰かと話す事で落ち着くケースが多かった。これも子育て支援の一環として続けて行きたい。

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
②	<p>4. 地域のゴミ拾いをしたり、挨拶をしたり等コミュニケーションをとる事で、安全対策に努めます</p> <p>5. AEDが保育園に設置されている事を、地域の方にも知って頂き、もしもの時には利用して頂きます</p> <p>6. 子ども110番の家を受けると共に、地域の方に避難場所として活用してもらっ様周知します</p> <p>7. 地域の状況を把握し、子育て広場・熟年者交流等を進め情報発信を行い、必要なニーズに応じられる様に努めます</p> <p>8. 近隣施設との合同研修会や視察等を行い、交流を深めます</p>	<p>4. 日頃から職員が進んで挨拶をする事で、子ども達も自ら地域の方への挨拶等を行っており、地域の方とのコミュニケーションは取れている。今後はこれを安全対策へとつなげたい。</p> <p>5. 保護者に対しては運動会の時に放送席の近くに置くことで、子ども達に対してはシェイクアウト訓練の時等に話をした事で保育園にAEDが有る事は伝える事が出来た。今後は地域の方まで広げて行きたい。</p> <p>6. 子ども110番の家を受けの事はしなかったが、一部の地域の方に保育園が開いている時は、場合によっては避難しても大丈夫である話は出来た。周知は今後の課題である。</p> <p>7. 情報発信とまではいかなかったが、園庭にお呼びしたり地域の行事に参加したり、施設へ子ども達手作りのプレゼントを渡しに行ったりは出来た。今後も続けて行きたい。</p> <p>8. コロナ禍でもあり、合同研修会や視察等を行う事は出来なかった。落ち着いたら是非行って行きたい。</p>
③	<p>1. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます</p> <p>2. 働きやすい環境づくりを推進します</p> <p>3. ボランティア・実習生向けのマニュアルを作成し基本姿勢を明分化していきます</p> <p>4. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます</p> <p>5. 人材育成は指導内容や方法等を共有基準で意図的・計画的に実施します</p> <p>6. 職員が自らの将来の姿を描くことができるような仕組み作りに取り組みます</p> <p>7. 福祉の仕事のやりがい魅力について、理解促進を図り研修を受講し専門性を高めます</p> <p>8. 目指すリーダー像を目指し行動します</p> <p>9. 財務管理能力の向上に取り組みます</p> <p>10. ICTといった先進的な技術を用いた業務効率化に取り組みます</p> <p>11. 現在の業務の内容・流れを見直し効率化に努め、協力体制づくりに取り組みます</p>	<p>1. 出来るだけ、準備や作り物等の負担の無い行事の進め方を行う様心掛け、職員配置に気を配ったりしたのだが、ちょっとした動きから労災を使用する事になった。対策等は今後の課題である。</p> <p>2. 職員間では、何でも話せる様な環境は整っており、少しの時間でもコミュニケーションの取れる様な企画を設けたり等行った。今後はもう少しゆとりの時間を作りたい。</p> <p>3. インターンシップや実習等、学生の受け入れは行ったのだが、基本姿勢の明分化は出来なかった。今後は検討して行きたい。</p> <p>4. 行事等をHPにアップする事で情報発信を行ったが、「福祉の仕事の啓発」には繋がらなかった。今後はもっと積極的に進めて行きたい。</p> <p>5. 経験年数の長い職員と短い職員と組ませ学べる体制を組んだりもしたが、職員一人ひとりを見極めながら、計画的に指導していく事は難しかった。今後も工夫しながら取り組んでいきたい。</p> <p>6. 職員が理想の保育士像を描ける様な存在の職員を育成出来ればと考えたが、日々の仕事や行事に追われ進める事が出来なかった。今後も課題としたい。</p> <p>7. 研修の場は無かったが、実習生や経験年数の短い職員に、少しでも福祉の仕事のやりがいや魅力について感じてもらえる様な話し方を工夫した。今後も続けて行きたい。</p> <p>8. 目指すべきリーダー的存在の職員が、職員不足もありバタバタしてしまっていた為、もう少しゆとりを持って動けると良いのではないかと考える。今後検討して行きたい。</p> <p>9. 予算を立て、ある程度は頭には入れているつもりでも、園の行事等他の業務で動くときと抜けてしまう為、しっかり把握しながら動く事が今後の課題である。なかなか能力の向上には繋がらない。</p> <p>10. 前年度のNASシステムの導入に加えコードモンも導入し、パソコン・タブレットでの共有作業もスムーズになってきた。今後コードモンの機能をもっと使える様になるのが課題である。</p> <p>11. 協力体制は出来ていると思うのだが、コロナ禍になり気付けた事も多く、再度行事等の見直しを全職員で行い効率化に務めて行きたい。</p>

＜ 住 吉 東 保 育 園 ＞

1. 施設の概要

- 1) 認可年月日 昭和41年4月1日 2) 利用定員 100 名
 3) 概要

地域住民の要望により、敷地が自発的に提供され、昭和41年4月定員60名で市が設置。昭和48年9月保育需要に伴い増築90名定員となる。宮崎市東北部に位置し、施設園芸広がる豊かな自然に恵まれ、地域の人々に支えられながら幅広い保育内容を実施している。平成15年4月より宮崎市の受託経営から法人の直接経営となる。園舎の老朽化に伴い、平成20年5月に移転新築となる。平成27年4月に待機児童解消対策の一環として定員を100名とする。

2. 職員に関する事項

施設長… 廣瀬久美子 主任保育士… 長友美千代 保育士… 14名 調理員… 4名 その他… 2名
 (内パート 1名)

3. 各種事業に関する事項

- 1) 保育園利用状況 ・3月入所率 97 % ・年間入所率 93 %

区分		月												合計(名)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	標準	49	49	48	48	46	44	46	48	47	46	46	46	563
	短時間	6	6	7	7	9	11	9	8	9	10	10	10	102
②	標準	25	25	25	24	24	24	25	27	25	26	25	25	300
	短時間	2	4	4	5	5	5	4	3	5	5	5	5	52
③	標準	6	6	6	6	6	6	8	9	9	10	10	10	92
	短時間	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
合計	標準	80	80	79	78	76	74	79	84	81	82	81	81	955
	短時間	8	11	12	13	15	17	14	12	15	16	16	16	165

※ ①は2号定員(3歳以上児)、 ②は3号(1.2歳)、 ③は3号(0歳)

2) 延長保育事業

・標準 1日平均 4名 (午後6時以降) ・短時間 1日平均0.4名 (午前8時前・午後4時以降)

- 3) 一時預かり保育事業 ・年間延利用者数 52 名
 4) 障がい児保育事業 ・障がい児童数 0 名
 5) 育児相談事業 ・随時相談 (在園児保護者・見学者も含む) 2件

4. 退所児童に関する事項

- 1) 退所状況 ・年間延退所者数 5 名 2) 退所理由 ・転園 1名 ・市外への転居 4名

5. 監査に関する事項

- 1) 法人内監査 令和4年6月2日、 令和5年2月24日
 2) 宮崎市指導監査 令和4年7月12日 ・指摘事項 なし

6. 補助金に関する事項

内容	金額	内容	金額
保育士等確保のための処遇改善補助金	656,000 円	延長保育促進事業補助金	300,000 円
一時預かり保育事業補助金	2,679,000 円	処遇改善臨時特例事業補助金	1,750,140 円
保育所等給食安定供給支援事業補助金	336,000 円	宮崎県 物価高騰対策緊急支援金	190,000 円
新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	500,000 円		

7. 寄付金収入 なし

8. 施設整備等に関する事項

- ・電気温水器購入取り付け ・ワイヤレスアンプ購入 ・遮光テントオアシス購入
 ・浄化槽清掃 ・体育倉庫引き違いサッシ取り付け工事

9. 行事等実施及び参加状況

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/4	入園 進級おめでとう会	園主催	全園児	10/5	お芋ほり体験	園主催	全園児 すみよし
5/24	園児健康診断	〃	全園児	10/27	園児健康診断	〃	全園児
5/24	交通安全指導	〃	全園児	11/5	シェイクアウト訓練	宮崎県	全園児 職員
6/3	歯科検診	〃	全園児	11/15	劇団杉の子観劇	園主催	〃
6/8-6/25	保育参加週間	〃	全園児 保護者	12/20	クリスマス会	〃	〃
6/15	ピーマン収穫	地域	年長児・地域	12/20	クッキング(ケーキ作り)	〃	年長児
6/23	宮崎大好き活動「青島の旅」	園主催	広原園児 年長児	2/13	自衛消防訓練	〃	全園児
7/6	水遊び開始	〃	全園児	2/18	みんなの発表会	〃	全園児
8/30	夏のお楽しみ会	〃	全園児	3/11	卒園式	〃	年長児 保護者
9/9	お月見団子作り	〃	年長児・地域	3/15	お別れ会	〃	全園児
10/1	ひがしっこ運動会	〃	園児・保護者	3/16	お別れ遠足	〃	以上児 職員

<月例行事>

1) 保育園内行事 ※の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり

- ・誕生会、防災訓練、身体測定、お弁当の日(月1回実施) ※和太鼓(4・5歳児) ※英語(3・4・5歳児)(月1～2回実施)
- ※スポーツ教室(3・4・5歳児)(月2回実施)

2) 職員行事等

- ・職員会議(月1～2回実施) ・給食会議(月1回実施) ・遊具・安全点検(月1回実施)
- ・腸内細菌検査(調理員毎月、その他の職員2月に1回実施) ・リーダー会 ・アレルギー会議(月1回実施)

<随 時>

1) 保育園内行事

- ・健康診断(年2回) ・尿検査、歯牙検診(年1回) ・園外保育 ・エコ活動
- ・クッキング(春・夏・秋・冬) ・読み聞かせ、食育活動、宮崎大好き活動

2) 地域貢献等行事

- ・地域との交流(上記実施状況に記載)
- ・実習生受入れ(11項目へ詳細を記載)

3) 職員行事等

- ・職員健康診断(全員年1回)
- ・法人内・園内外研修参加(10項目へ詳細を記載)
- ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目へ詳細を記載)

10. 研修等実施及び参加状況

※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/9	BCPの重要性	園外	1名	10/27	子育て応援研修	法人内	1名
5/18-19	保護者支援・子育て支援研修	〃	1名	10/28	メンタルヘルス研修	〃	1名
6/3	幼保連携会議	〃	1名	11/1	給食保健衛生研修会	園外	1名
6/24	正規職員研修	法人内	2名	11/8	新人職員研修会	法人内	2名
7/1	会計責任者勉強会	〃	1名	11/4～	障がい児保育研修会	園外	1名
7/4	ハラスメントを未然に防ぐ研修	園外	1名	11/4～	食育アレルギー研修会	〃	1名
7/13.1/10.2/20	コードモン勉強会	法人内	1名	11/4～	保健衛生安全対策研修会	〃	1名
7/21	子育て支援部合同研修会	園外	1名	11/4～	障がい児保育研修会	〃	1名
8/3	宮崎市幼保小連携	〃	1名	12/19～	保護者支援子育て支援	〃	1名
8/9	人権同和教育研究大会	〃	1名	12/19～	マネジメント研修会	〃	1名
8/25	幼児部献立作成会	〃	1名	1/25	マジックと音楽と絵本のコンサート	〃	2名
9/22	主任勉強会(感染症マニュアル、倫理綱領等)	法人内	1名	2/20	地域ケア会議	〃	1名
10/3～	幼児教育研修会	園外	1名	3/8	調理師研修会	法人内	1名
10/28.29	乳児保育	〃	1名				

11. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎学園短期大学	8月5日	1名	宮崎学園短期大学	11/4～11/17	2名

12. 方針に沿った取り組み状況

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ol style="list-style-type: none"> 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 統一した感染症等に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知教育し運用します 公益通報窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 倫理綱領を全職員に周知教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを継続します 	<ol style="list-style-type: none"> 主任会でマニュアルの統一を図るため検討を重ね話し合いを行った。今後統一したマニュアルを作り上げ、職員に周知徹底していく。 園内研修や職員会等で読み合わせを行った。 1人ひとりが意識をもって行動理解できるよう、今後も園内研修等で周知徹底を継続していく。 人権研修に参加し、園内研修の中で人権について考える機会を持てた。今後も人権についての研修を受講し人権教育とはどういうものかを考える機会を設ける。 職員会等で個人情報について話をし、取り扱いに十分気を付けること等確認を行った。今後も情報提供等あった時には、状況を見ながら職員会を行い確認を行っていくようにする。 内部統制システムの理解ができていない部分があった。本部との連携を取りながら検討を重ね進めていく。 予算等職員に伝え意識を持てるように図った。またSDGsも意識しエコ活動も出来ることから少しずつ進めていけた。これからも保育等にもエコを取り入れコスト削減を意識付けていく事が課題
②	<ol style="list-style-type: none"> 地域社会で行われる様々な行事や活動に、園児の個別的状况に配慮し参加協力を行います 子育てサロンを通し子育ての悩み相談を行います BCP計画の見直しを随時行い、避難場所としての開放や協力、備蓄の充実を図ります 緊急時近隣の企業との連携を図り協力体制を整え災害時に備えます 定期的なごみ拾いの中で防災散歩を取り入れ、近隣の確認や危険箇所把握を継続します 地域ケア会議に参加し、保護者支援の継続に取り組みます 園の取り組みや様子がわかるよう、ホームページを活用し発信していきます 	<ol style="list-style-type: none"> 新型コロナのため、地域行事に参加できなかった。今後は、参加の要請に応じて状況を見ながら協力を行っていく。 避難訓練を実施したので備蓄品が不足したり、把握ができていない賞味期限切れのものもあり確認不足であった。今後BCP委員を中心に点検補充を積極的に行っていく。 近隣企業の協力をもらい訓練を行うことができた。引き続き協力をお願いし、スムーズに避難できるように連携を図るようにする。 ごみ拾いを行いながら、危険箇所の確認を行うことができた。今後防災マップを完成させ、危険箇所把握に努めていきたい。 地域ケア会議に参加し意見交換できた。今後も会議に参加し、子ども支援、保護者支援に努めていく。 ホームページ更新を定期的に行った。園だより、給食だよりを引き続き掲載していく。

方針	具体的取り組み	取組みの状況・結果及び今後の課題等
③	<ol style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメント防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組めます 3. 働きやすい環境づくりを推進します 4. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます 5. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態工夫し多様な働き方ができるように対応していきます 6. 職員が自らの将来の姿を描くことができるような仕組みづくりに取り組みます 7. 福祉の仕事のやりがい魅力について理解促進を図り、研修を受講し専門性を高めます 8. 財務管理能力の向上に取り組めます 9. 主任と副主任が連携し、主体的自主的なリーダーの育成を目指します 10. マネジメント能力の向上に取り組めます 11. ICTといった先進的な技術を用いた業務効率化に取り組み活用していきます 12. 現在の業務内容・流れを見直し効率化に努め、協力体制づくりに取り組み継続します 13. 感染症への意識を高め、感染予防・拡大防止対策の取り組みを継続します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園内研修でパワハラ事例等話をし、対策や防止等について考える機会を持つことができた。今後も引き続き対策防止のため園内研修を継続してハラスメントの理解を深める機会を設ける。 2. 年に1回の健康診断で早期発見に努め、個人的に話をして再検査の受診を促した。今後も職員の健康維持のために体調を観察し病院受診など進めていく。 3. 臨機応変なシフト交代や休日等、お互い様の気持ちで行なうことができていた。今後も無理の行かないように勤務交代等行えるような体制づくりを進めていく。 4. 実習生に保育の楽しさを伝えられ、就職に繋がった。今後も実習生の受け入れを積極的に行い、又保育の楽しさを伝えていきたい。 5. 職場復帰後やパート職員の時間調整、年休取得等しやすい環境に努めた。今後も職員の意見を聞き、対応の仕方を工夫していく。 6. } 7. } 8. 理解ができていなく本部等助言をもらいながら行うことがあった。見直しなどしっかりと行いながら財務管理能力の向上に取り組んでいく。 9. 副主任としての役割等を明確にできず、連携が中々できなかった。今後役割としっかりと話し、。リーダーとしての仕事、責任を理解してもらうことが今後の課題 10. マネジメント研修を受講し、園内研修に役立て進めることができたと思う。今後は、後輩指導育成をさらに進めていけるよう、話し合いをしていく。 11. } 12. } 13. コロナ感染対策のため消毒等常時行い感染拡大、予防に努めた。今後は状況を見ながら、予防対策に又取り組んでいく

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
10/28	ハロウィンパーティー	園主催	全園児・職員	12/14	焼き芋大会	園主催	以上児
11/4	シェイクアウト訓練	宮崎県	全園児・職員	12/23	クリスマス会	〃	全園児
11/7	みかん狩り・綾馬事公苑遠足	園・農園	4.5歳児	2/3	節分	〃	全園児
11/15	七五三詣り	園・富吉神社	3.4.5歳児	3/3	ひな祭り	〃	全園児
11/16	交通安全教室	交通安全協会	3.4.5歳児	3/11	卒園式	〃	年長児親子
11/24	出汁の日	園主催	5歳児	3/17	歩こう会(小学校)	〃	年長児
11/27	生目地区文化祭作品出展	生目地区	5歳児作品	3/22	海のお仕事を知ろう	〃	講師・3.4.5歳児
12/10	楽しい発表会	園主催	全園児・親子				

<月例行事>

- 1) 保育園内行事 *の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり
 ・お誕生会、身体計測、お弁当の日、防災訓練(月1回実施) ・文字のおけいこ(5歳児、R4. 1~3月実施)
 *えいごであそぼう(4・5歳児) *和太鼓(5歳児) ・体育遊び(3・4・5歳児、月2回実施)
- 2) 職員行事
 ・職員会、遊具安全点検、給食検討会(月1回実施) ・腸内細菌検査(調理員毎月、その他の職員2ヶ月に1回実施)

<随 時>

- 1) 保育園内行事
 ・園外保育 ・クッキング教室 ・健康診断(年2回) *絵本貸し出し
 ・歯科健診、尿検査(年1回実施) ・以上児トイレ便器洗浄及びコーティング施行
- 2) 地域貢献行事 ・地域ゴミ拾いボランティア
- 3) 職員行事
 ・職員健康診断(年1回実施) ・法人内・園内・各種外研修(10項目へ詳細を記載)
 ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目へ詳細を記載)

10. 研修等実施及び参加状況 ※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18.19	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)	園外	1名	8/2	部下の可能性を引き出すコーチング研修	園外	1名
6/15	メンタルヘルス研修	〃	1名	8/9	宮崎県人権・同和教育研究大会	〃	1名
6/17	発達障がい支援研修	〃	1名	8/17	子どもの食事・食育研修	〃	1名
6/21	マニュアル作成研修	〃	1名	8/25	職務を通じて後輩を育てるOJT研修	〃	1名
6/24	新人正規職員研修	法人内	1名	9/27	主任勉強会(虐待マニュアル、倫理綱領等)	法人内	1名
7/1	会計責任者勉強会	〃	1名	10/12	ワクワクする保育と保育者養成	園外	1名
7/4	ハワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	園外	1名	10/28	メンタルヘルス研修	法人内	1名
7/7	保幼小連携研修	〃	1名	11/1	給食研修	園外	1名
7/9	発達障がいスキルアップ支援研修	〃	1名	11/1	保幼小連携	〃	1名
7/11	安全管理研修	〃	1名	11~12月	キャリアアップ研修(食育・アレルギー)	園外	1名
〃	厨房研修	〃	1名	12. 1月	キャリアアップ研修(マネジメント)	〃	1名
7/13.1/10.2/20	コードモン担当者研修会	法人内	1名	1/25	マジックと音楽と絵本のコンサート	〃	2名
7/21	こどもの人権・児童虐待と保護者支援	園外	1名	2/8	法人継続勉強会	〃	1名
7/26.27	職場研修担当者養成研修	〃	1名	2/11	保育環境講座	〃	3名
8/1	食育推進研修会	〃	1名				

11. 実習・ボランティア等受入れ状況 1名

12. 方針に沿った取り組み状況 ① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	1. 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 2. 統一した感染症等に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します(感染症対策の徹底を行い安心できる環境の下サービスの提供を行います) 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 4. 公益通報窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し不正行為の早期発見とその是正措置を行います	1. 統一した虐待マニュアルを作成し、園内研修で活用する事が出来た。 2. 統一したマニュアルを作成し、感染症対策は徹底して行うことが出来た。今後も状況に応じた対策・対応をとっていく。 3. } 園内研修を行い、周知・教育を行うことが出来たが 4. } 今後も定期的に話し合っていく。

方針	具体的取り組み	取組みの状況・結果及び今後の課題等
①	5. 倫理綱領を全職員に周知教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 7. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 8. 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 9. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います	5. 倫理綱領を周知する機会を設け説明を行った。 6. 人権等の研修に参加し報告会を定期的に行った。 7. コロナ感染症報告等職員間で周知してきたがよりプライバシーを尊重できるよう伝え方を工夫していく。 8. 内部統制のシステムに従い運用を進めているので今後も継続していく。 9. 必要な物の価格等を自分達で調べる事でコストへの意識を高める事が出来た。
②	1. 法人内でセーフティネットについて職員に周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域のゴミ拾いを職員又は年長児も一緒に行います 3. 地域の行事に参加し、交流を行います 4. 地域の方と一緒に農業体験を行う機会を持ちます 5. 園だよりを地域の店舗・公民館等に貼らせてもらい園の情報を伝えます 6. 園庭開放・育児相談・絵本の貸し出し等の情報を発信し地域への子育て支援をしていきます 7. 地域を歩いて地域の立地条件等を確認し全員で把握します 8. 災害時に連携できるよう普段より地域の方とつながりを持ちます 9. 地域消防の方々と話しをする機会を持ち情報を得ます	1. 職員へのセーフティネットの説明は行ったが、地域へは発信できていないので今後回覧板等で発信していく。 2. 職員・園児と共にゴミ拾いを行う事ができた。来年度はもっと回数を増やせるよう担当を決め計画を立てていく。 3. 文化祭へ作品参加をした。今後もどんな形で参加出来るか検討していきたい。 4. 地域の方との触れ合いは出来なかったが地域の方の畑を借りさつま芋を収穫体験をする事が出来た。また、いちご狩りへの招待があり年長児が参加した。 5. 園情報は自治会を通し回覧板で発信している。地域の方より文字の大きさ、発信時期等について意見・感想もあったので検討していきたい。 6. コロナの為出来なかった。園の情報を地域へ発信し支援へつなぐ。 7. 職員間で立地条件の確認を行った。危険箇所等定期的に確認していきたい。 8. } 災害について地域の方や消防の方と話す機会を持てなかったため、話す機会を設けていく。 9. }
③	1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます 3. 働きやすい環境づくりを推進します 4. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます 5. 主任と副主任が連携し、主体的自主的なリーダーの育成を目指します 6. ICTといった先進的な技術を用いた業務効率化に取り組みます 7. 休憩時間を確保できるよう、皆で話し合い工夫し取り組みます 8. 現在の業務の内容・流れを見直し効率化に努め、協力体制づくりに取り組みます 9. 感染症への意識を共有し、防止対策に取り組みます	1. 園内研修で取り入れ、職員教育を行った。パワハラ防止につなげたい。 2. 朝のラジオ体操参加が定着しなかったため、健康維持の為参加を呼びかけていく。メンタル面については、もう少し個人面談をしていく必要があると思う。 3. 体調のすぐれない時、用事のある時など勤務変更等で無理のない対応を行ってきた。また、各家庭事情等も考慮し可能な限りの勤務体制を組んできた。今後もお互いに協力しながら働きやすい職場環境を整えていく。 4. 園だよりクラスだより、また、掲示板を利用して園の情報発信をしてきたが、福祉の仕事の啓発は上手く伝わったかよくわからないので継続して情報発信していく。 5. 主任、副主任の連携は出来ていたためリーダーの育成にも力を入れたい。 6. パソコン等の苦手な職員には業務の効率化に繋がらなかったと思うが、経験を重ねる事により達成できると思う。 7. 休憩を取るよう声を掛け合っているが、なかなか取れない時もあったため、業務の効率化を図り休憩も取れるように工夫していきたい。 8. 業務の流れを知り協力体制が出来てきたが、効率化については課題が残るので内容の見直しを継続していく。 9. その都度、貼り紙やメール等で情報発信し、感染防止対策に取り組んできた。

＜住吉南保育園＞

1. 施設の概要

1) 認可年月日 昭和43年4月1日 2) 利用定員 100 名

3) 概要

住吉地区南部の子供の増加と交通事情による危険性もあり、地域の協力と援助により蓮ヶ池の一部を埋め立てて昭和43年4月宮崎市により設置した。障害児・乳児保育等幅広い保育需要の対応に努めている。平成15年4月より、宮崎市の受託経営から法人の直接経営となる。老朽化に伴い園舎の建替えを行い、平成17年9月に竣工する。平成18年4月、定員を60名より90名に変更する。平成27年4月に待機児童解消対策の一環として利用定員を100名に変更。

2. 職員に関する事項

施設長… 宮越純子 主任保育士… 中村有希 保育士… 20名 調理員… 4名 美化… 1名(パート)
(内パート5名.調理員兼任1名) (内パート1名.保育兼任1名)

3. 各種事業に関する事項

1) 保育園利用状況 ・3月入所率 109 % ・年間入所率 106 %

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
		①	標準	64	64	64	63	63	65	64	64	63	63	
	短時間	3	3	3	4	4	2	3	3	4	4	5	4	42
②	標準	29	28	27	28	28	28	26	27	28	28	28	29	334
	短時間	3	5	6	5	5	5	7	6	5	5	4	3	59
③	標準	4	4	4	6	6	6	6	7	9	9	10	11	82
	短時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	標準	97	96	95	97	97	99	96	98	100	100	99	102	1,176
	短時間	6	8	9	9	9	7	10	9	9	9	9	7	101

※ ①は2号定員(3歳以上児)、②は3号(1.2歳)、③は3号(0歳)

2) 延長保育事業

・標準 1日平均 4名(午後6時以降) ・短時間 1日平均 0.05名(午後4時以降)

3) 一時預かり保育事業

・年間延利用者数 93名

4) 障がい児保育事業

・障がい児童数 1名

5) 学童保育事業

・年間延利用者数 13名

6) 子育て支援事業

・新型コロナウイルス感染症対策のため中止

7) 育児相談事業

・相談件数 6件 随時相談(在園児保護者)
・相談内容 ・子育ての不安 ・育児疲れ 等の相談

4. 退所児童に関する事項

1) 退所状況 ・年間延退所者数 3名 2) 退所理由 ・市外保育園転園、幼稚園転園

5. 監査に関する事項

1) 法人内監査 令和4年6月3日、12月15日
2) 宮崎市指導監査 令和4年7月6日 ・指摘事項 なし

6. 補助金に関する事項

内容	金額	内容	金額
保育士等確保のための処遇改善補助金	692,000 円	一時預かり保育事業補助金	2,679,000 円
延長保育促進事業補助金	211,603 円	特別支援保育事業補助金	900,000 円
処遇改善臨時特例事業補助金	1,798,080 円	新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	500,000 円
保育所等給食安定供給支援事業補助金	383,100 円	宮崎県 物価高騰対策緊急支援金	190,000 円

7. 寄付金収入

寄付者(目的)	金額
令和4年度卒園児保護者一同(園歌ボード・時計)	42,500 円

8. 施設整備等に関する事項

・外壁改修工事 ・外壁ボードひび割れ補修工事 ・園内足洗場補修工事

9. 行事等実施及び参加状況

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/1	花見ランチ	園主催	年長児	11/11	園児健診	園主催	3・4・5歳児
4/4	入園進級おめでとう会	〃	全園児	11/15	園児健診	〃	0・1・2歳児
晴天時	野菜種まき	〃	年長児	11/21	クッキング(やきいもスコーン)	〃	年長児
4/28	園児健康診断	〃	0・1・2歳児	12/7	角笛シルエット劇場	園・角笛シルエット	年長児
5/10	園児健康診断	〃	3・4・5歳児	12/9	クリスマスリースづくり	園・トロピカルファーム	年長児
5/17	花しょうぶ遠足	〃	4・5歳児	12/13	もちつき	園主催	3・4・5歳児
5/6~6/10	保護者面談	〃	全世帯	12/16	クリスマスケーキづくり	〃	年長児
6/13~'7/	ふれあい保育参観月間	〃	全園児	12/21	クッキング(クッキー)	〃	年長児
6/3	歯牙健診(後藤歯科)	〃	全園児	1/16~'2/10	ふれあい保育参観月間	〃	全園児
6/22	クッキング(ロールパン)	〃	年長児	1/30	クッキング(発酵しないピザ)	〃	年長児
6/29	プール掃除	〃	年長児	2/3	豆まき	〃	全園児
7/1	プール開き	〃	全園児	2/14	宮崎科学技術館	〃	年長児
7/26	みなみまつり	〃	全園児	2/15	クッキング(チョコバナナブラウニー)	〃	年長児
8/31	プール納め	〃	全園児	3/3	ひなまつり会	〃	全園児
9/2	交通安全教室	〃	3・4・5歳児	3/4	卒園式	〃	年長児・保護者
9/9	クッキング(お団子作り)	〃	年長児	3/7	みんなともだち交流会	〃	全園児
10/1	みなみっこ運動会	〃	全園児	3/8	就学前交通安全指導	〃	年長児
10/5	人権ジャー来園	人権啓発委員会	全園児	3/10	自衛消防訓練(地震・津波)	〃	全園児
10/12	芋掘り交流	園・すみよし	年長児	3/22	夢のパン試食会	園・リビエール	年長児
10/15	JAまつりイベント参加	JA	年長児	3/23	花見遠足	園主催	3・4・5歳児
10/26	クッキング(パンプキンパイ)	園主催	年長児	3/24	修了式	〃	全園児
10/31	自衛消防訓練(火災)	〃	全園児				

<月例行事>

- 1) 保育園内行事 *の行事は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施の月あり
- ・誕生会・弁当の日、発育測定、防災・防犯訓練(月1回実施) ・お歌の広場(毎週月曜日)
 - ・英語で遊ぼう(3.4.5歳児)(月2回実施) ・スポーツ教室(2.3.4.5歳児)(月2回実施)
- 2) 職員行事等
- ・腸内細菌検査(調理員毎月、その他の職員2月に1回実施) ・遊具・安全点検、職員会(リーダー会 週1回実施)

<随 時>

- 1) 保育園内行事
- ・園外保育・絵本貸出・歯牙検診(年1回実施) ・硬筆(年長児)1月~3月 ・健康診断(年2回実施)
 - ・フッ化物洗口(4.5歳児) ・尿検査 ・パンアカデミー(7回) ・園内美化活動(年12回実施)
- 2) 地域貢献等行事
- ・ボランティア・実習生受入れ(11項目へ詳細を記載) ・幼保小連携推進協議会会議参加(年3回参加)
- 3) 職員行事等
- ・職員健康診断(全員年1回実施) ・ゴミ拾いウォーキング ・研修報告・法人内イベント参加・環境美化清掃
 - ・法人内・園内外研修参加(10項目へ詳細を記載)
 - ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目へ詳細を記載)

10. 研修等実施及び参加状況

※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
5/18~19	保護者支援・子育て支援2022	園外	1名	7/13.1/10.2/20	ICT(コドモン)勉強会	法人内	1名
6/1~2	福祉職員スタートアップ研修	〃	2名	7/26~25	パワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	園外	1名
6/9	メンバーシップ研修	〃	1名	7/26~27	職場研修担当者養成研修(前期)	〃	1名
6/21	普通救命講習	〃	1名	7/26~27	職場研修担当者養成研修(人材育成担当)	〃	1名
6/24	新人正規職員視察研修	法人内	1名	8/1	食育推進研修会	〃	1名
7/1	メンタルヘルス研修	〃	1名	8/2	部下の可能性を引き出すコーチング研修	〃	1名
7/1	会計責任者勉強会	法人内	1名	8/3	記録技術研修	〃	1名
7/11	厨房清掃と機器メンテナンス研修	園外	2名	8/4	第一回保育士部研修会	〃	1名

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
8/4～5	福祉職員キャリアパス対応研修	園外	1名	10/27	子育て応援研修	法人内	2名
8/17	子どもの食事・食育研修	〃	1名	10/28	メンタルヘルス研修	〃	1名
8/25～26	OJT研修	〃	1名	10/31.2/8	法人事業継続勉強会	〃	1名
8/27	発達障がい支援者スキルアップ研修	〃	1名	11/1	令和4年度 給食・保健衛生研修会	園外	1名
9/3	第一回主任保育士・主幹保育教諭研修会	〃	1名	11/2	福祉職員のための医学基礎知識研修	〃	1名
9/10	第10回学術集会	〃	5名	11/4～12/16	キャリアアップ障害児保育	〃	1名
9/22	主任勉強会(感染症マニュアル、倫理綱領等)	法人内	1名	11/4～12/16	キャリアアップ食育・アレルギー対応	〃	1名
9/27	福祉職員スタートアップ研修	園外	2名	11/8	宮崎福祉会 新人研修	法人内	3名
10/3～11/14	キャリアアップ幼児教育	〃	1名	1/27	都道府県経営セミナー	園外	1名
10/12～13	キャリアパス対応生涯研修過程	〃	1名	1/31	福祉職員スタートアップ研修	〃	2名
10/18	コミュニケーション研修	〃	1名	2/1	コミュニケーション研修	〃	1名
10/26	コミュニケーション研修(管理職)	〃	1名	12/19～20	幼児安全法	〃	1名
10/27	支援に繋げる障がい理解研修	〃	1名	3/8	調理員研修	法人内	1名

11. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎医療管理専門学校	2/13～2/24	1名	宮崎私立日章高校1年生	10月31日	1名
宮崎県立北高校2年生	9/30 (アンケート回答)	4名			

12. 方針に沿った取り組み状況

① 信頼される保育園 ② 地域に根ざす保育園 ③ 組織力のある保育園

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ol style="list-style-type: none"> 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 統一した感染症等に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知教育し運用します 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 	<ol style="list-style-type: none"> 職員の研修報告を通して園内研修を行った。年度末に法人統一のマニュアルが完成したのでこれからの園内研修として活用したい 法人の行動規範は説明を行いながら職員間で確認していった。今後も振り返りながら事柄に当てはめてしっかり周知していきたい 職員間で報連相の仕組みをしっかりと立てながら、法令違反行為・不正行為を目にしたときは速やかに処理できる仕組みがある事を周知した。これからも話しやすい環境を作っていく 法人の倫理綱領を職員間で確認していった。法人職員としての自覚と仕事への誇りを持てるようにこれからも個人を尊重していきたい 県の人権講座で、シンケンジャーを通して園児・保護者も含めてともに人権についての学びの場を設けた。今後でもできることから実行したい 家族参加の行事の情報は、家庭で楽しんでもらいSNSで拡散することがない様その都度伝えていった。これからも職員間でも利用者のプライバシーについて確認し振り返っていききたい 公認会計士による助言・見直しはなかったが、本部から助言をたくさんいただいた。見直しをしっかりと行い運用していきたい 備品の管理がなされておらず、コスト削減の意識が薄かったように思う。今後、主な備品は台帳管理して職員間での意識を高めていきたい
②	<ol style="list-style-type: none"> 法人内でセーフティーネットについて、周知・理解を深め、地域の方々への支援に繋がります 合同避難訓練を実施して、地域と協力していける様につながりを持ちます 	<ol style="list-style-type: none"> セーフティーネットについて職員には通達したが地域には浸透していない、次年度は、地域の回覧でお知らせしていきたいと思う コロナ禍で合同訓練までにはいかなかった。これから地域と協力していける様につながりを持っていきたい

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
②	<ul style="list-style-type: none"> 3. 地域のゴミ拾いをしながら、危険な場所はないか安全に気を配ります 4. 地域の高齢者宅へのお誕生訪問を継続して行います 5. 地区総会で場所を提供したり、親子向けの園庭開放を慣れた方には随時利用していただきます 6. 地域の方に情報を発信していただきながら、伝承遊びの伝授やクリスマスリース作りなどのイベントを催し、保護者・地域の方同士が交流できる環境を整えます 7. 地域行事の要請があれば、親子での参加も促しながら可能な限りは無理の無いよう参加します 	<ul style="list-style-type: none"> 3. ゴミ拾いをしながら蓮ヶ池の工事の状態など、職員間で報告しながら散歩先の危険箇所を確認することができた。これからも安全に気を配りたい 4. コロナ禍で活動できなかったが、誕生訪問希望者の名簿を地域から頂いたので訪問していきたい 5. } コロナ禍で実施できなかったが、地域の方にも声をかけ 6. } 協力してもらいながら計画的に無理のないよう活動していきたい 7. 屋外でのイベント要請を受け参加し家族で楽しめていたようだった。今後も感染対策を行いながら、屋内の地域行事等も無理のないよう参加していきたい
③	<ul style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます 3. 働きやすい環境づくりを推進します 4. ボランティア・実習生向けのマニュアルを作成し基本姿勢を明確化していきます 5. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し、多様な働き方ができるように対応していきます。 6. 人材育成は指導内容や方法を共通基準でに意図的に計画的に実施します 7. 職員が自らの将来の姿を描くことができるような仕組み作りに取り組みます 8. 財務管理能力の向上に取り組みます 9. 主任と副主任が連携し、自主的なリーダーの育成を目指します 10. ICTといった先駆的な技術を用いた業務効率化に取り組みます 11. 休憩時間を確保できるよう、皆で話し合い工夫し取り組みます 12. 現在の業務の内容・流れを見直し効率化に努め、協力体制づくりに取り組みます 13. 衛生面に留意しながら環境を整え、自らも感染予防に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 研修報告を通して身近に起こりうるパワハラについて検討していった。今後、機会があれば職員にも研修を受けてもらい共通理解に努めたい 2. 業務の簡素化や、職員同士体調が気になるときは声を掛け合い状況によってはヒアリングを設けて話せる場を作っていた。今後、調理職員にも保育に入ってもらおうなど配慮していきたい 3. 職員間で声を掛け合いながら、積極的にシフトの職員配置をカバーしていった。これからも職員の意見を聞きながら、働きやすい環境を皆でつくってきたい 4. 「保育実習指導者会議」にも参加し学校側の意向も組みながら基本姿勢を明確に実施することができた。ボランティアの受け入れも行ったがお手伝いに終わった。今後、対応しながら年齢に沿ったマニュアルを作りたい 5. ヒアリングを通して、それぞれの意向を聞きながら、職員の生活に合った業務形態ができるよう、職員間でも協力し勤務体制を組むことができた。今後も協力体制をもちたい 6. 個人に合った、又希望する研修にzoomも利用し参加していったが、コロナ禍で職員不足となりキャンセルすることも度々あり計画的にはいかなかった。これからも臨機応変に計画的に実施したい 7. 年度初めに個人の目標を立ててもらい振り返りをしてもらった。自らの将来という大きなスパンではなかったもので、考える機会をもうけていきたい 8. 法人会計システムを通して財の動きを確認して取り組んだが、科目間流用も数件あった。年度末は特に気を付けたい 9. 主任・副主任・行事リーダーが中心となり、ケース会議や行事確認を積極的に進めることができた。今後も、連携をとり進めていきたい 10. ICTの取入れで、効率的になったが問題点も見えてきたので、法人で共通理解しさらに便宜を図れるように運用できればと思う 11. 休憩時間を利用して銀行・病院等の所用を済ませる職員もいたが、今後効率的に休憩時間が取れるよう職員間で工夫していきたい 12. 職員の声を積極的に聴き、その都度、効率化に努めたが、軌道修正がうまくいかないこともあった。主任やリーダーとも報連相をとりながら軌道修正していきたい 13. コロナの影響も受け、欠席者が多数の時は園内消毒・玩具消毒をして環境を整えた。職員は各自で体調管理を行い予防に努めた。これからも感染対策を行い環境を整えていきたい

＜ 児童養護施設 みんなせいかん ＞

1. 施設の概要

1) 認可年月日 昭和23年1月1日 2) 定員 30 名

3) 概要

終戦直後、故河谷裕俊氏が戦災浮浪児を収容保護したのを受け継ぎ、昭和21年旧生活保護法による施設として認可経営を宮崎市厚生援護会(宮崎福祉会の前身)に委託、昭和23年児童福祉法 第41条による施設として認可。昭和55年7月「民生館養護部」から「宮崎民生館」に改称する。平成24年3月建物老朽化により谷川町から阿波岐原町へ移転改築。平成25年8月に「みんなせいかん」へ改称する。平成29年1月生計困難者に対する相談支援事業を開始。令和3年度4月1日地域小規模児童養護施設「みらいえ」を開設。

2. 職員に関する事項

施設長 …中村秀子 主任 … 中菌均、桑田美紀子 事務主任…若林秀磨 支援員 …17名(パート3名)
 心理療法担当職員 …2名 家庭支援専門相談員 …2名 里親支援専門相談員…1名
 職業指導員…1名 個別対応職員…1名 看護師…1名 調理員 … 4名

3. 利用者に関する事項

1) 措置入所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼児	5	6	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	88
小学生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	117
中学生	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
高校生	4	4	4	5	5	5	5	4	4	4	4	3	51
計	26	27	28	29	29	30	30	29	29	28	28	27	340

2) 一時保護委託 ・年間延人数 455 名

4. 退所者に関する事項

1) 退所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
退所数					1		1		1		1	4	8

2) 退所理由 ・家庭復帰 ・措置変更

3) 退所者来所状況 ・年間来所延人数 21 名

5. 事業について

1) 宮崎市子育て短期支援事業(ショートステイ)	・年間延利用者数	34 名
2) みやざき安心セーフティーネット事業(生計困難者に対する相談支援)	・支援件数	2 件
3) 一時保護事業(宮崎県女性相談所事業受託)	・利用件数	0 件

6. 監査に関する事項

1) 法人内監査 令和4年6月3日、令和5年2月24日

2) 県指導監査 令和4年9月21日

- ・改善事項 給与栄養量一覧表のたんぱく質と脂質について、給与目標量と充足率を明確に記載すること。
- ・改善状況 たんぱく質と脂質の列に上下の目標量充足率の設定をしていたのでソフトウェアのシステム変更をして明確にした。

7. 評価に関する事項

社会的養護関係施設第三者評価(宮崎県社会福祉士会) 令和4年11月25、26日

8. 補助金に関する事項

内 容 (みんなせいかん)	金額	内 容 (みらいえ)	金額
児童処遇改善助成金	9,180 円	児童処遇改善助成金	13,060 円
宮崎県物価高騰対策緊急支援補助金	375,000 円	宮崎県物価高騰対策緊急支援補助金	75,000 円
宮崎県社会的養護従事者処遇改善事業補助金	2,364,000 円		

9. 寄附金収入

寄付者(目的)	金額	寄付者(目的)	金額
井本徹(利用者へ)	50,000 円	有限会社廣建設(利用者へ)	300,000 円
釘崎清一郎(利用者へ)	30,000 円	株大坪計量器店(利用者へ)	100,000 円
宮崎県共同募金会(利用者へ)	49,940 円	宮崎県共同募金会(利用者へ) みらいえ	29,480 円
押川一生(利用者へ)	20,000 円	日本児童養護施設財団(利用者へ)	50,000 円

10. 寄付金事業積立金に関する事項

寄付者	令和4年度当初積立金残額	今年度積立取崩金額	取崩し金使途及び金額		令和3年度期末積立金残額
原田恒男遺言 執行人 弁護士中嶋謙介	25,605,150 円	637,514 円	抗ウィルメラテーブル・4人用	60,500 円	24,967,636 円
			抗ウィルメラテーブル・6人用	54,450 円	
			コンテンツSWITCH 2台	75,961 円	
			タンス代	45,800 円	
			ダイニングテーブル代	99,800 円	
			ダイニングテーブル代	99,800 円	
			コンテンツSWITCH ゲームソフト代	29,689 円	
			コンテンツSWITCH Lite代	21,978 円	
			コンテンツSWITCH ゲームソフト代	25,916 円	
			学習机2台、椅子2脚	96,800 円	
デスクマット、その他学習机用品	26,820 円				

11. 施設整備等に関する事項

- ・公用車(トヨタ・ピクシス)購入
- ・畳張り替え工事
- ・エアコン分解洗浄(10台)
- ・調理室給湯配管漏水修繕
- ・食堂建具取替工事
- ・ポータブル蓄電池購入
- ・居室壁修繕
- ・幼児室床・廊下フローリング張り替え
- ・ホットショーケース(保温機)購入
- ・調理室エアコン取替
- ・業務用冷蔵庫購入

12. 行事等実施及び参加状況

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

1) みんなで行事

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/7	入園・入学おめでとう会	施設	児童・職員	11/20	環境美化 地区内清掃	地域	地域・児童・職員
5/4	こどもの日レク(こいのぼり製作)	〃	〃	11/23	先輩に学ぶ	施設	児童・職員
6/2	小男子レク(ドライブ)	〃	〃	11/26	総合防災訓練	〃	〃
6/5	地区内清掃・花壇の苗植え	地域	地域・児童・職員	11/28	幼児レク(イオン・くら寿司)	〃	〃
6/15	小女子調理実習	施設	児童・職員	12月	みんなのフェスタ	〃	地域・児童・職員
6/18	総合防災訓練	〃	〃	12/25	クリスマス会	〃	児童・職員
6/25	小男子レク(久峰公園)	〃	〃	12/26	餅つき・大掃除	〃	〃
7/2	七夕	〃	〃	12/28	小規模レク(億公民館・体育館)	〃	〃
7/10	ちびっこ広場草刈り	地域	地域・児童・職員	1月	ウィンターメモリ	〃	〃
7/21	億地区まちづくり推進委員会 福祉部会 勉強会	〃	地域・職員	1/24	幼児レク(公園・ジョイフル)	〃	〃
8/11	サマーメモリー	施設	児童・職員	2/3	節分豆まき	〃	〃
9/3	敬老の日メッセージカード作り	地域	地域・児童・職員	2/4	小男子レク(フェニックス動物園)	〃	〃
9/12	小規模レク(映画)	施設	児童・職員	2/12	小男子レク(ハッティングセンター)	〃	〃
9/25	小男子レク(サッカー観戦)	〃	〃	2/19	小男子レク(中央公園)	〃	〃
10/9	小男子レク(ルピナスパーク)	〃	〃	2/25	小女子調理実習	〃	〃
10/10	秋休みレク	〃	〃	2/26	WBC壮行試合観戦	地域	〃
10/21	子育てサロンミニちびっこ運動会	地域	地域・児童・職員	3/3	ひなまつり	施設	〃
10/29	小男子調理実習	施設	児童・職員	3/4	新一年生歓迎会(前浜子ども)	地域	地域・児童・職員
11/8	地域福祉コーディネーター 連絡会議	地域	地域・職員	3/10	幼児レク(平和台・ベビーフェイス)	施設	児童・職員
11/14	小男子レク(清水台公園)	施設	児童・職員	3/10	前浜子ども会役員選出総会	地域	地域・職員
11/14	小男子レク(ハッティングセンター)	〃	〃	3/29	送る会	施設	児童・職員
11/20	小女子調理実習	施設	児童・職員				

2) みらいえ行事

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
4/10	祝う会	施設	児童・職員	11/6	フェニックス自然動物園レク	施設	児童・職員
4/26	子どもの日レク	〃	〃	11/23	先輩に学ぶ	〃	地域・児童・職員
5/22	萩の台公園レク	〃	〃	11/26	総合防災訓練	〃	児童・職員
6/18	総合防災訓練	〃	児童・職員	12/24	クリスマス会	〃	児童・職員
7/2	七夕	〃	〃	12/26	餅つき・大掃除	〃	〃
8/6	花火大会レク	〃	〃	2/2	サイクリングレク	〃	〃
8/22	バーベキュー・ソーメン流し	〃	〃	2/3	節分	〃	〃
9/10	十五夜	〃	〃	2/12	バレンタイン	〃	〃
9/28	映画鑑賞レク	〃	〃	3/4	前浜子ども会歓送迎会	地域	児童
10/30	ハロウィン	〃	〃	3/25	送る会	施設	児童・職員

<月例行事>

1)施設内行事

- ・防災訓練、身体測定、児童会、安全教育(月1回実施)
- ・性教育(月1～2回実施)
- ・心理療法(月30～40回)
- ・和太鼓(月2～3回実施)
- ・個別対応(月平均9回)

2)地域貢献等行事

- ・公民館清掃(月1回実施)
- ・ゴミ拾い(月1回実施)

3)職員行事

- ・職員会、調和会、献立作成会議、ケース研究(月2回実施)・小グループ会議(年14回)、施設内外安全点検(月1回実施)
- ・腸内菌検査(調理員毎月、その他の職員2ヶ月に1回実施)

<随時>

1)施設内行事

- ・食育活動(野菜作り等)
- ・調理実習(年5回実施)
- ・嗜好調査
- ・誕生会
- ・防犯訓練
- ・高校3年生自立訓練
- ・卒園生アフターケア

2)地域貢献等行事

- ・ボランティア・実習生受入れ(14項目～詳細を記載)
- ・各団体視察受け入れ(年2回実施)
- ・憶地区社協「参観子ども一時預かり事業」(コロナの為中止)
- 「子育てサロン」(年1回実施)
- ・憶地域まちづくり推進委員会福祉部会勉強会
- ・電話相談
- ・里親研修(年41回)
- ・畑提供

3)地域参加行事

- ・前浜自治会行事(年6回実施)
- ・憶地区社会福祉協議会会議(書面にて実施)

4)職員行事

- ・職員健康診断(全員年1回実施、夜間を伴う業務者年2回)
- ・法人内外研修参加(13項目～詳細を記載)
- ・法人内各種委員会・担当者打合せ等参加(本部12項目～詳細を記載)

13. 研修等実施及び参加状況

※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
4/13～28	宮崎県児童福祉関係研修	WEB研修	1名	10/19.20	福祉キャリアパス対応研修中堅職員コース	〃	1名
6/1. 2. 27.31	福祉職員スタートアップ研修	WEB研修	2名	10/22	児童福祉法改正	集合研修	2名
6/9	親子再構築プログラム事業TF-CBTコンサルテーション	集合研修	1名	10/26	チーム力を高めるコミュニケーション研修	WEB研修	1名
6/11	発達障がい支援者基礎研修	WEB研修	2名	10/26～11/13	発達障がい支援者基礎講座中堅職員向け	〃	1名
6/14～15	九州児童福祉施設職員研究大会	〃	5名	10/27	支援につながる障がい理解研修	〃	1名
6/15～30	発達障がい支援者基礎研修	〃	1名	10/28	子育て応援研修	集合研修	1名
6/17	事務員研修	法人内	1名	10/28	メンタルヘルス研修	法人内	2名
6/21	防火研修会	集合研修	1名	10/31.2/8	法人事業継続勉強会	法人内	3名
6/22	全国自立援助ホーム協議会 退所者支援研修	WEB研修	1名	11/2	福祉職員のための医学基礎知識研修	WEB研修	3名
6/23	防火研修会	集合研修	1名	11/8	新人研修	法人内	4名
6/29	防火研修会	集合研修	2名	11/9～11/11	全国児童養護施設長研究協議会	〃	1名
7/1	メンタルヘルス研修	WEB研修	1名	11/10.11	福祉キャリアパス対応研修中堅職員コース	集合研修	1名
7/4	パワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	〃	1名	11/15.16	社会養護におけるライフストーリーワーク	集合研修	1名
7/7	記録技術研修	〃	1名	11/16.17	福祉職員キャリアパス対応研修初任者コース	〃	1名
7/9	発達障がい支援者スキルアップ研修 (幼児期・学年期支援)	〃	2名	11/16	防火・防災研修	〃	1名
7/12	チーム力を高めるコミュニケーション研修	〃	1名	11/17	子ども虐待と複雑性PTSDの安全な治療	集合研修	2名
7/20～8/1	メンタライジングを活かして子どもとの関係をはぐくむ	〃	4名	11/29.30	福祉キャリアパス対応研修チームリーダーコース	WEB研修	1名
8/25.26.10/28	職務を通して後輩を育てるOJT研修	〃	2名	12/15.16	福祉職員キャリアパス対応研修初任者コース	〃	1名
8/27	発達障がい支援者スキルアップ研修 (生活支援・強度行動障害)	〃	4名	1/13	保育の現場における安全管理研修	〃	1名
9/8.9	福祉職員キャリアパス対応研修初任者コース	〃	1名	1/17	宮崎県災害派遣福祉チーム登録研修	〃	1名
9/8	宮崎県児童福祉施設職員資質向上研修	〃	1名	1/24	子どもゲーム、ネット依存の理解と対応研修	WEB研修	2名
9/14.15	「虐待を受けた子どものこころの支援」	〃	1名	1/26	チームを支える初任者メンバーシップ研修	〃	1名
9/20.21	親子再構築プログラム事業	集合研修	3名	1/27	令和4年度 宮崎県経営セミナー	集合研修	1名
9/22	子ども家庭庁について知ろう	WEB研修	1名	2/2. 2/10	子どもの家庭教育推進官民協議会	WEB研修	1名
9/27	主任勉強会(虐待マニュアル、倫理綱領等)	法人内	2名	2/7	新生児聴覚検査・療育体制連携強化 事業研修会	〃	1名
9/28	合同研修 I	WEB研修	3名	2/7	合同研修 II	集合研修	3名
9/29	経営協 動画視聴	法人内	1名	2/10	メンタルヘルス研修 中堅職員編	〃	1名
9/28.29	福祉キャリアパス対応研修中堅職員コース	WEB研修	2名	2/13～3/6	苦情解決セミナー(動画視聴)	WEB研修	2名
9/29	児童養護施設指導者研修	〃	1名	2/22.23	児童福祉施設 職員研修会	集合研修	5名
10/5.6	福祉職員キャリアパス対応研修初任者コース	〃	1名	3/11	栄養士研修	〃	1名
10/12, 13	福祉キャリアパス対応研修チームリーダーコース	〃	1名	3/9.3/11	宮崎県児童福祉司法定義務研修	〃	2名
10/13	実務者スキルアップ研修	〃	1名	3/21	子どもの虐待防止と支援を考える研修会2023	WEB研修	2名

14. 実習・ボランティア等受入れ状況

学校名等	期間及び人数	学校名等	期間及び人数
宮崎学園短期大学	9/8～9/15、9/20～27…各2名 11/28～12/5、12/19～27…各1名	介護等体験 公立大学	12/12～16…1名
		県社協新規採用職員実習	11/12～13…1名
宮崎医療管理専門学校	7/4～13…2名	ボランティア	10/24～26、11/5、12/3、2/9、 2/14、2/15、2/17～19、 2/21～25…1名
宮崎情報ビジネス医療専門学校	9/23～10/2…2名		
福岡こども専門学校	7/25～8/3…1名		
南九州大学	2/14～24 …1名	長崎大学	3/13～3/23…1名
中村学園	8/26～9/5…1名	介護等体験 国際大学	10/31～11/7…1名
里親普及促進センター	4/10…2名、4/16…2名、5/8…2名、5/11…2名、5/13…1名、5/14…1名、5/15…2名、6/11…2名 6/12…2名、6/25～26…1名、7/9～10…1名、7/16…1名、8/6…4名、8/7…1名、9/10～11…2名 9/17…2名、9/22…2名、9/26…2名、10/1～2…2名、10/11…2名、10/13～14…1名、10/20…1名 10/23…2名、10/29～30…1名、11/5～6…2名、12/10…1名、1/28…1名、2/18…1名、2/25…1名 3/4…4名、3/11…1名、3/18…2名、3/19…2名		

15. 方針に沿った取り組み状況 ① 信頼される施設 ② 地域に根ざす施設 ③ 組織力のある施設

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	1. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育します	1. 職員会や小グループに分かれて、法人倫理綱領・行動規範の説明・周知を図った。あわせて、法人の理念・方針、施設の理念・方針やみんせいかんルール等の説明・周知も行った。
	2. 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います	2. 公益相談窓口規程については、職員会を通して説明・周知する事ができた。次年度もコンプライアンス違反行為等の早期発見に努めたい。
	3. 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります	3. 法人倫理綱領の周知徹底を行う事ができた。あわせて、全国児童養護施設協議会の倫理綱領についての説明・周知を行った。また、生活アンケートや暴力アンケートを行い、児童のニーズの把握を行い対応をおこなう事ができた。次年度も継続して行いたい。
	4. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します	4. 人権擁護委員会が、施設内研修や人権アンケートを実施し、結果を職員会でフィードバックし、対策等について周知する事ができた。また、全養協のチェックリストからの評価・反省を職員会で統一する事ができた。
	5. 利用者のプライバシーや個人情報保護を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します	5. 児童が通う、幼稚園や学校へも協力を促し、個人情報の保護に努めた。また、年度初めに個人情報保護についての誓約書を提出し意識を高めている。また、法人内での施設内研修で学んだ「個人情報の取り扱い」について職員会にて全職員へ周知・徹底する事ができた。
	6. 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います	6. R2年度勉強会で学んだことを基本にして運用を行った。公認会計士による助言・見直しまでには至らなかった。
	7. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います	7. 職員会等を通して、コストの意識を共通認識できるよう話し合いを行った。次年度は、業務改善アンケートや毎月の職員会を通してコストに関する情報を共有していきたい。
	8. 地域小規模児童養護施設のより家庭的な環境での養育・支援を行い、サポート体制を整えます	8. 家庭的養育を目的に、地域小規模を展開し、2年経つ。今後も、地域小規模児童養護施設バックアップ職員を中心に、緊急時のサポート体制を整え取り組んでいきたい。
	9. BCPに基づく訓練を実施して見直し充実させていきます	9. 定期的にBCPに基づく避難訓練を実施したり、防災管理委員会が施設内研修を行い、意識を高める事ができた。また、シェイクアウト訓練での反省や課題に今後も取り組んでいきたい。
	10. グループごとの自己評価で意見を吸い上げて全体の自己評価に取り組みます	10. 今年度は第三者評価を受審した。評価から、明確になった課題を、全職員で共通理解し、対策に向けて積極的に取り組んでいきたい。
②	1. みやぎき安心セーフティーネット事業を全職員に周知し、CSWを中心に取り組みます	1. 今年度は、2件の相談・実施にとどまった。今後は、アウトリーチをおこなう事でニーズの把握に努めていきたい。
	2. ショートステイ事業や里親レスパイトケアに加え一時預かり事業を実施します	2. ショートステイ事業34件の受け入れだった。今後は積極的に地域のニーズの把握に取り組み、対応していきたい。

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
②	<ul style="list-style-type: none"> 3. 里親支援機関として里親制度の普及促進を図り、里親専門相談員を中心に実習の充実や支援に取り組みます 4. 子育て相談等の電話相談に応じ、ケースによっては行政等の相談機関へ繋いでいきます 5. 退所した児童のアフターケアに取り組みます 6. 災害時の取り組みとして、地域との防災訓練を充実させます 7. 子ども110番の家として地域の安全に努めます 8. 学校や地域の見守り隊と連携して登校時の見守り活動を実施します 9. ボランティアの受入れ・交流を積極的に行い、施設や子どもへの理解を図ります 10. 地域の会議や行事に積極的に参加します 	<ul style="list-style-type: none"> 3. 里親専門相談員が里親促進普及センターと密に連携し、家庭訪問や実習受け入れ、里親会議等に積極的に参加する事ができた。里親サロンを3月に実施し好評であった。次年度も引き続き実施していく。 4. 地域の方からの子育て相談に対しては電話で話を聞いたり、来館してもらい相談を受けて、関係機関へ繋がる方法を助言したりする事ができた。次年度も積極的に行っていきたい。 5. 退所児童とは、連絡をとりあい助言等を行ったり、相談事業所等とケース会議等を行い支援にあたってきた。今後も、関係機関と連携し、アフターケアを行っていきたい。 6. コロナの影響もあり、実施が難しかった。次年度は、状況を考慮して実施していきたい。 7. 玄関付近に目立つように、マークを貼っている。今後も地域住民には安全な場所としてアピールしていきたい。 8. 小学校でも安全部に入り、地域住民の方々や保護者の方と一緒に見守り活動を行った。また、登校時には、職員が引率を行った。 9. コロナウイルスの影響もあり、ボランティアの受け入れが厳しかったが、3名だけ受け入れる事ができた。また、12月頃にお世話になった地域の方々に児童手作りの松ぼっくりツリーをプレゼントする事ができた。今後は交流やボランティアの受け入れを積極的に行っていきたい。 10. 前浜自治会の会議や子ども会の集まり、地域清掃や苗植え等には参加できたが、後はコロナウイルスの影響で中止となった。次年度は、積極的に地域の会議や行事に参加したい。
③	<ul style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、定期的に職員教育を行います 2. 毎朝のラジオ体操等の徹底とメンタルヘルスの施設内研修を実施します 3. 学校や関係機関等への情報発信に努め、PR活動をすすめます 4. 年2回アンケートを実施して個々に応じたフォロー、育成に取り組みます 5. リーダー層を中心に新人職員へのOJTとサポート体制に努めます 6. 主任の財務管理能力の向上に取り組みます 7. グループ会議を充実して、主任と各グループが情報を共有し連携していきます 8. リーダーとして必要なマネジメント能力の向上に取り組みます 9. 業務の内容・見直しをして効率化に努めます 10. 休憩時間を確保できるように話し合い、工夫し協力体制づくりに取り組みます 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 職員会で情報誌を利用してパワハラについて説明・周知を行った。また、規程にもハラスメント体制として相談窓口担当者が掲載されている事を伝え意識を高めた。 2. 毎日のラジオ体操は取りくむ事ができていたが、メンタルヘルスの施設内研修はできなかった。次年度は積極的に、職員のメンタルヘルスを行っていきたい。 3. 保育士の養成校でPR活動を定期的に行う事ができた。また、中学生との交流により、福祉の仕事について伝えた。今後は広報誌を配布したり、行事への参加やボランティアを募るなど、積極的に活動の場を広げていきたい。 4. 施設長や人権擁護委員会がアンケートを実施し、個々に応じた相談、助言等のサポート、また育成を行う事ができた。次年度も定期的に行っていきたい。 5. 新人育成担当職員とリーダーが情報を共有し、個別に面談をしたりOJT等、積極的に取り組めた。次年度は新人職員育成を4期に分けて実施したい。 6. 法人内で事業計画勉強会を実施し、財務管理について学ぶ事ができた。また、事務費保護単価についても学ぶ機会があった。今後も積極的に財務管理について学び能力の向上に取り組む。 7. 毎月2～3回グループ会議を行い情報を共有し合っている。また、各グループリーダーと主任で話し合った内容を会議録で記載し、全職員が回覧できるようにしている。今後も全職員が連携していけるよう配慮していきたい。 8. リーダー会で、新任担当職員と連携し、OJTの実施方法やマネジメントの話し合い等の場を設けたが、実際は不十分である、次年度は、マネジメント能力の向上に積極的に取り組みたい。 9. 職場活性化アンケートを実施し、問題点や改善点を集計し、効率化図った。今後もアンケートの実施やフレッシュ会での意見等を元に、業務の効率化を図っていきたい。 10. 職員会で休憩について話し合いの場を設け、日常的にお互いが時間を見つけ声をかけ合うようにしている。今後も職員がリフレッシュできるように時間を確保していきたい。

＜ 救 護 施 設 す み よ し ＞

1. 施設の概要

1) 認可年月日 昭和21年12月 2) 定員 82名

3) 概要

大正10年に山本石松氏が自宅にホームレスや身寄りのない高齢者、精神障がい者などのため自費で収容施設を設立。昭和21年10月に生活保護法施行と同時に市営となり、運営を宮崎市厚生援護会（宮崎福社会の前身）に委託、同年12月に生活保護施設として認可。昭和31年2月に養老施設から救護施設に種別変更。昭和46年4月に民間老朽施設改善の為、行政の補助を活用し宮崎市阿波岐原町に移転改築。昭和47年に定員65名を70名に変更。昭和48年10月に定員を75名に変更し、翌年12月に定員を82名に変更する。平成20年5月に行政の補助を活用し住吉地区に移転改築する。平成20年10月に「宮崎養護院」から「すみよし」に名称変更。平成24年4月に一時入所事業、平成26年4月に居宅生活訓練事業、平成27年4月に居宅訪問事業、平成28年12月に生活困窮者就労訓練事業、平成29年1月に生計困難者に対する相談支援事業を開始。

2. 職員に関する事項

施設長 … 栗田 正志 事務主任 … 後藤 洋貴 主任 … 泉 健士朗、 塗木 美弥
 事務員 … 2名(再掲1名) 指導員 … 2名(再掲) 生活支援員 … 17名 看護師 … 2名
 栄養士 … 1名 介助員 … 2名 その他 … 2名 嘱託医 … 1名

3. 利用者に関する事項

1) 入所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性(措置)	44	44	45	44	44	43	43	43	43	43	43	42	521
女性(措置)	37	38	38	38	38	39	39	39	39	39	39	39	462
私的利用	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
計	81	82	83	82	82	83	83	83	83	83	83	82	990

4. 退所者に関する事項

1) 退所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性(措置)	1		1	1	2	1	1	1			1	1	10
女性(措置)				1						1	1		3
私的利用													0
計	1	0	1	2	2	1	1	1	0	1	2	1	13

2) 措置利用退所理由 ・社会福祉施設・病院へ措置替え…6名 ・社会復帰…3名 ・死亡…3名 ・その他…1名

5. 事業について

1) 一時入所事業 ・利用件数 16件 ・利用者数 16名

2) 居宅生活訓練事業

・訓練場所 ① メゾンK（宮崎市大字島之内9706-12） ② カメリアタウン（宮崎市大字島之内9513-1）

・訓練者数 7名 ・年間延訓練者数 42名 ・居宅生活移行者数 3名

3) 自立相談支援事業 ・相談件数 0件 ・相談者数 0名

4) 居宅訪問事業 ・訪問対象者数 4名 ・年間延訪問回数 17回

5) 生活困窮者就労訓練事業 ・訓練件数 0件 ・訓練者数 0名

6) 生計困難者に対する相談支援事業 ・相談件数 0件 ・相談者数 0名

6. 監査に関する事項

1) 法人内監査 令和4年6月2日、12月17日

2) 宮崎市指導監査 令和4年9月29日 ・文書指摘事項 なし

7. 補助金に関する事項

内 容	金 額
宮崎市結核対策費補助金	29,700 円

8. 寄附金収入

寄付者名(目的)	金 額
宮崎至慶幼稚園後援会(施設利用者)	9,303 円

9. 施設整備等に関する事項

- ・コピー機買替 ・トラクター購入 ・3坪中古ハウス購入 ・1坪中古ハウス購入(屋外トイレ用) ・大型乾燥機買替
- ・食堂雨漏り修繕 ・車寄せ雨漏り修繕 ・食堂笠木修繕 ・下水道切替工事 ・プレハブ小屋電源工事
- ・防犯カメラ買替 ・公用車(Roomy)購入

10. 行事等実施及び参加状況 ※ 新型コロナウイルス感染症対策により、中止した行事は記載していません

月/日	行事名	実施	参加者等	月/日	行事名	実施	参加者等
6/2	花菖蒲祭り・カラオケ大会	施設	利用者	10/11	保育園合同芋掘り	住吉南保育園	利用者・園児
6/3	「ヤギパーク」外出	〃	〃	10/18	法要	施設	利用者
7/15	慰霊祭	〃	〃	11/9	秋祭り	〃	〃
8/24	なんでも相談	〃	利用者・第三者委員	12/20	クリスマス会	〃	〃
8/30	スイーツ祭り(かき氷提供)	〃	利用者	1/6	初詣	〃	〃
9/21	敬老祝賀会・お月見カフェ	〃	〃	2/24	なんでも相談	〃	利用者・第三者委員
10/5	保育園合同芋掘り	住吉東保育園	利用者・園児	3/23	「ラーメンマン」出店	〃	利用者
10/6	保育園合同芋掘り	天神の森きらら保育園	〃				

<月例行事>

1) 施設内行事

- ・レク活動、避難訓練、自治会、テイクアウト食事、茶話会

2) 職員行事等

- ・職員会議 ・リスクマネジメント委員会 ・権利を守る委員会 ・災害対策委員会 ・行事企画委員会
- ・看護師会議 ・栄養士会議 ・ノー残業デー(毎月第2水曜日実施)
- ・職員腸内細菌検査(栄養士1ヶ月1回、その他2ヶ月1回)

<随 時>

1) 施設内行事

- ・利用者健康診断(年1回心電図検査及びレントゲン検査実施) ・給食リクエストメニュー(1人年1回実施)
- ・各種クラブ活動(フラダンス1回実施) ・施設内映画鑑賞(随時実施) ・フラワーアレンジメント(随時実施)

2) 地域貢献等行事

- ・実習生・ボランティア受け入れ(12項目へ詳細を記載)

3) 職員行事等

- ・入所判定委員会(年18回実施) ・業務改善委員会(年7回実施) ・感染対策委員会(年7回実施)
- ・ケース検討会議(年10回実施) ・リスクマネジメントセルフチェック(年2回実施)
- ・権利を守るセルフチェック(年1回実施) ・ハラスメントセルフチェック(年1回実施)
- ・職員ストレスチェック(年1回実施) ・合同防災訓練(シェイクアウト訓練)(11/4実施)
- ・AED講習(年1回実施) ・防犯講習(年1回実施) ・自己評価(年2回実施)
- ・職員健康診断(年1回実施) ・広報誌発行(年2回発行) ・新任研修(年31回実施)
- ・法人内外研修参加(11項目へ詳細を記載) ・OJT研修(年8回実施) ・研修報告(年4回実施)
- ・法人内各種委員会・担当者打合せ参加(本部12項目へ詳細を記載)

11. 研修等実施及び参加状況 ※一部オンライン研修

月/日	研修名等	実施	参加数	月/日	研修名等	実施	参加数
6/3	メンタルヘルス研修(中堅職員)	施設外	1名	10/12	福祉ビジョン21世紀セミナー	施設外	4名
6/7	ミーティングのすすめ方研修	〃	1名	10/13	こころの病気に関する研修会	〃	1名
6/9	メンバーシップ研修・中堅職員 I	〃	1名	10/19~20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程	〃	1名
6/10	メンバーシップ研修・中堅職員 II	〃	1名	10/26	みやざき安心セーフティネット事業相談員研修会	〃	1名
6/17	事務職員研修会	法人内	1名	10/27	子育て応援研修	法人内	1名
6/21	マニュアル作成研修	施設外	3名	10/28	メンタルヘルス研修	〃	2名
6/24	新規正職員研修	法人内	1名	11/8	新入職員研修	〃	3名
7/1	メンタルヘルス研修(初任者編)	施設外	2名	11/15	利用者主体研修	施設外	2名
7/4	パワハラを未然に防ぐコミュニケーションのあり方	〃	1名	11/16	防火・防災研修	〃	1名
7/7~8	九州地区救護施設協議会研修大会	〃	7名	11/17	九州地区救護施設協議会施設長等管理監督者研修会	〃	2名
7/13	管理職員が考える職場内のストレスマネジメント研修	〃	1名	12/8~9	事業継続計画(BCP)研修	〃	2名
8/27	令和4年度社会福祉士県中ブロックの研修	〃	1名	1/27	都道府県経営協セミナー	〃	3名
9/1	福祉の基礎知識習得研修	〃	1名	2/4	介護福祉士会研修	〃	1名
9/7	介護現場におけるリスクマネジメント研修	〃	1名	2/7	障がい者支援のためのコミュニケーション研修	〃	1名
9/22	主任勉強会(倫理綱領等)	法人内	3名	2/9	法人継続事業勉強会	法人内	2名
9/29~30	全国救護施設研究協議会大会	施設外	2名	2/10	メンタルヘルス研修	施設外	1名
9/30	認知症の基本理解研修	〃	2名	2/20	防火研修会(南海トラフ地震への備え)	〃	1名
10/4	口腔ケア研修	〃	1名				

12. 実習・ボランティア等受け入れ状況

学校名等	期間	人数	学校名等	期間	人数
宮崎国際大学～介護等体験	8/15～8/19	1名	宮崎福祉医療カレッジ～社会福祉士相談援助実習	8/15～9/2	2名

13. 方針に沿った取り組み状況

① 信頼される施設 ② 地域に根ざす施設 ③ 組織力のある施設

方針	具体的取り組み	取り組みの状況・結果及び今後の課題等
①	<ol style="list-style-type: none"> コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 虐待についてのセルフチェック表を活用し、職員が自己の支援について振り返る機会を設けることで虐待の早期発見・早期改善を図ります 委員会を中心に職員会議の中で虐待に関する勉強会を実施し、虐待についての意識づけ及び情報の共有を図ります 虐待防止マニュアルを全職員に配布し、周知・徹底を図ります リスクマネジメントについてのセルフチェック表を活用し、職員が自己の支援について振り返る機会を設けることでリスクの低減を図ります 委員会を中心に事故リスクの原因究明及び分析を密に行い、改善に向けた取り組みやマニュアルの見直しを適宜行います 委員会を中心に服薬事故防止マニュアルの周知・徹底を図り、誤薬ゼロを目指します 	<ol style="list-style-type: none"> 職員会議や新任研修の場を利用して丁寧に周知・教育を行ったが、コンプライアンスについては範囲が広く、理解度や認識度にばらつきがある印象であった。今後も法人の規程集の周知や委員会活動を活性化することでコンプライアンスの遵守に努めていきたい。 職員会議や新任研修の場を利用して公益通報者保護に関する規程を中心に説明を行った。周知が不十分であるため、より身近に機能するよう繰り返し説明を行っていきたい。 倫理綱領および行動規範を全職員に配布し、職員会議の場を利用して説明および注意喚起を行った。範囲が広く周知までには至っていないため、今後は年度ごとに重点項目を設ける等、周知の方法を検討していきたい。 研修参加はなかったが、昨年度に引き続き権利を守る委員会(虐待防止委員会)を中心に目標を週ごとに掲げ、朝礼で目標を発表し啓発を行った。結果、重大な虐待案件はみられなかったが、言葉遣い等において改善が必要な部分もあるため、引き続き人権教育に取り組んでいきたい。 職員会議や朝礼の場を利用して関連する話を行うとともに、セルフチェックを活用し注意喚起を行った。特に入浴や排泄に関する業務はプライバシーへの配慮が重要であるため、今後も人権教育と併せて周知・徹底を図ってきたい。 備品・消耗品等の購入については消耗が早くないか、また適正価格かを起案者に求め、施設行事については、その目的や必要性について起案用紙等に記載してもらった。今後も同様の取り組みを行い、全職員の意識向上を図ってきたい。 セルフチェックを実施し、その結果をもとに委員会で内容分析を行った。言葉遣い等の虐待の目ともいえる記載も数件みられたため、改善策やアドバイス等について全職員へ発信した。引き続き改善を図ってきたい。 職員の支援上の悩みや意見をもとに委員会で話し合い、結果を職員間で共有し支援に活かすことができた。今後も会議を重ね、全職員で虐待防止に対する意識を高めていきたい。 全職員へ虐待防止マニュアルの配布を行うとともに、職員会議や朝礼、新任研修等で発信し、マニュアルの振り返りや徹底を行った。一定の成果は見られたが、言葉遣い等において不十分な項目もあるので、引き続き発信していき周知・徹底を図ってきたい。 セルフチェックを行うことで自身の行動を振り返り改めることができた。また、転倒や事故に繋がる恐れのある些細な気付きをスムーズに報告できるよう新たな様式を取り入れ、事故の未然防止に繋がった。引き続き同様の取り組みを行っていき、更なるリスク低減を図ってきたい。 委員会を中心に転倒・事故報告書をもとに原因分析や対応について話し合い、その内容を全職員に周知したことで一定の成果が見られた。今後は特に転倒リスクについての改善や危機管理に注力したい。 支援員と看護師との連携を密に図り、服薬マニュアルの見直しや周知を定期的に行った。特に新任研修では、誤薬・落薬防止についての方法を伝え繰り返し実践することで一定の成果が見られた。今後も意識の統一を図り、誤薬ゼロを目指してきたい。
②	<ol style="list-style-type: none"> 法人内でセーフティネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 地域住民との合同防災訓練を実施します 福祉避難所としての機能を充実させます 災害の際、地域住民の避難場所として施設を開放するとともに、備蓄品や災害用品の充実を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 「みやざき安心セーフティネット事業」について地域の自治会長に説明を行い、自治会長から民生委員へ情報提供を行っていただいた。また、十分な食事を摂ることができない貧困世帯の子どもの問題を解決するため、「フードバンクみやざき」と連携を行い、利用者・職員で育てた野菜や寄附で集まった日用品を届けている。この活動をとおして、今後も利用者とともに地域支援に関わってきたい。 昨年度に引き続き、地域住民や住吉東保育園との合同防災訓練を実施した。また、防災訓練時に地域住民に施設内を見学してもらったり、施設の炊き出し訓練に参加していただいた。今後も地域住民参加型の訓練を実施し、地域の避難所として認知されるよう取り組んでいきたい。 防災訓練時に地域住民を招き、福祉避難所としての受け入れ手順の説明を行った。今後も必要な見直しを行いながら福祉避難所としての機能を強化していくとともに、地域住民にアピールしてきたい。 非常食について、災害時に迅速に食事を提供できるよう個別でパッキングされたものに変更する等の工夫を行った。また、大容量の蓄電池を購入し事務室およびスタッフルームに整備した。今後も定期的に備蓄品や非常食、災害用品等の補充・整理・見直し等を行い非常時に備えていきたい。

方針	具体的取り組み	取組みの状況・結果及び今後の課題等
②	5. 地域交流行事を開催し、地域住民やボランティアの方との交流を図ります 6. 地域の活動や行事に参加し、地域の活性化に協力します	5. 新型コロナウイルスの影響により今年度も地域交流行事は中止とした。来年度以降もコロナの状況や社会の動向を注視しながら開催を検討し、地域・ボランティアとの交流の場を提供していきたい。 6. 新型コロナウイルスの影響により地域行事は全て不参加とし、施設内で出来る行事へ変更している。来年度以降もコロナの状況や社会の動向を注視しながら参加を検討していきたい。
③	1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組めます 3. 働きやすい環境づくりを推進します 4. 年休を取得しやすい職場環境を構築し、心身のリフレッシュを図ります 5. ボランティア・実習生向けのマニュアルを作成し基本姿勢を明文化していきます 6. 積極的な情報発信に努め、福祉の仕事の啓発に努めます 7. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し多様な働き方ができるように対応していきます 8. 人材育成は指導内容や方法を共通基準で意図的・計画的に実施します 9. 職員が自らの将来の姿を描くことができるような仕組み作りに取り組めます 10. 福祉の仕事のやりがい魅力について、理解促進を図り研修を受講し専門性を高めます 11. 目指すリーダー像を目指し行動します 12. 財務管理能力の向上に取り組めます 13. 課長と係長が連携し、主体的自主的なリーダーの育成を目指します 14. マネジメント能力の向上に取り組めます 15. 休憩時間を確保できるよう、皆で話し合い工夫し取り組みます 16. 現在の業務の内容・流れを見直し効率化に努め、協力体制づくりに取り組みます	1. セルフチェックを実施し、その結果について委員会で話し合った上で必要な内容を職員会議や朝礼時に伝えた。今後も日常的な現状把握に努めるとともに、職員会議や面談等を利用し更なる実態の把握および解決策の検討を行い、ハラスメントの未然防止を図っていききたい。併せて、全職員が声を出し合いハラスメントが起こらない職場環境の構築にも取り組んでいききたい。 2. ストレスチェックを実施するとともに、面談等をとおしてメンタルヘルスの実態把握およびメンタルヘルスケアに努めた。また、入浴支援時にマスクをフェイスシールドに変更したり氷結ベルトを支給する等、労災防止に努めた。今後も職員の心身の健康維持に有効な内容を模索していききたい。 3. 風通しの良い職場環境づくりを施設のスローガンとして掲げ取り組んだ。また、職員間のコミュニケーションを大切に、上司や先輩へ不安や悩みを相談できる雰囲気作りに注力した。引き続き働きやすい職場環境の構築に努めていききたい。 4. 昨年度に引き続き可能な限り本人の希望休を反映した勤務割表を作成している。連休の取得も含め、今後も引き続き本人の希望する年休を取得し易いよう、業務内容やシフト体制の見直しを図っていききたい。 5. ボランティア・実習生向けのマニュアル整備までには至らなかった。今後は新型コロナウイルスへの対策が緩和されることでボランティア・実習生の参加が増えてくることが予想されるので、早急に整備していききたい。 6. すみよし広報誌「まつぼっくり」を発行し、ホームページの更新も適宜行っている。その他、地域のケアマネージャーに対して救護施設についての説明を行ったり、「フードバンクみやざき」への野菜等の提供を行っている。今後も救護施設の認知拡大に繋がるような様々な活動を模索していききたい。 7. 育児・介護・看護が必要なご家族がいる職員や60歳以上の職員に対しては、本人の申し出により業務内容や宿直回数、勤務日、勤務時間等の配慮を行った。またパート職員に対しては、可能な限り契約更新時に本人の希望を反映させたかたちで雇用契約を締結している。今後も柔軟な働き方ができるよう工夫していききたい。 8. 新任職員に対して計画表を作成し意図的・計画的に新任研修を実施した。研修実施者は研修内容や本人の質問・疑問等を整理し、必要な情報を職員間で共有し問題解決を図った。今後も研修受講者・研修実施者ともにスキルアップが図られるよう努めていききたい。 9. 自身のキャリア形成に繋げていけるよう、施設内で様々な役割や委員会、活動等を設定し、本人の特性等を考慮しながら割り振りを行った。また、個人面談をとおして自身の目指す将来像について聞き取りを行った。今後も将来像を描けるような職場体制を目指していききたい。 10. オンライン中心ではあったが、専門性を高めるため様々な福祉分野の研修に多数の職員が参加している。次年度も引き続き研修等への参加を促し専門性を高めていききたい。 11. 課長・係長については、一般職員の目標となる存在になれるよう様々なかたちで教育・研修・話し合い等を行った。次年度はより立場を意識した年度目標を立ててもらい、自身のキャリア形成に繋げていききたい。 12. 施設長・総務企画課長を中心に定期的に予算執行状況の確認および補正を行った。今後も様々な研修に参加し社会福祉法人会計基準を学びながら財務分析を行い、特に支出については必要性や効率性等を熟考した予算執行を意識し、透明性の高い財務管理を目指していききたい。 13. 指導する側である課長と係長については連携して問題解決に取り組むよう、また主体的に業務に取り組むよう都度話を行った。一定のスキルアップは図られたがまだ不十分であるため、次年度は職種や立場を超えたリーダー層の連携強化を意識し、更なる育成を図っていききたい。 14. 施設長・課長・係長・委員会リーダー・業務活動リーダー等、それぞれの立場や部門においてマネジメントが機能するよう働きかけを行ったが、目標設定が曖昧であったり問題の把握・解決ができていないことがあった。今後も研修参加やOJTの実施を行い、マネジメント能力の向上を図っていききたい。 15. 支援員は利用者の対応が常にできるよう3パターンに分かれて休憩時間を設定することで、しっかり休憩時間を確保することができた。今後も同様の取り組みを継続し、労働環境の改善に努めていききたい。 16. 業務改善会議やケース検討等を頻繁に実施し、その内容を朝礼や職員会議で伝えた上で文書回覧も行ったことで周知が図られ、お互いの協力体制のもとで業務を行うことができた。今後は更に多職種との連携を密に図り、報・連・相を徹底していききたい。